

令和7年度 神戸市ものづくり工場の管理運営に対する評価票

1. 施設概要

(1)設置目的	本市における「ものづくりの拠点」として、中小製造事業者及びものづくり技術の高度化を図る製造事業者を支援し、本市産業の活性化を推進することを目的として設置。
(2)事業内容	・工場の管理運営(使用許可、使用料等の徴収、施設及び設備の維持管理、保安警備、清掃、全体調整) ・工場内利便施設の管理運営(自動販売機)
(3)施設内容	生産施設(242ユニット)、駐車場(193台)、駐輪場(250台)、会議室(4室)、神戸リエゾン・ラボ(産学連携共同研究開発支援施設)等 ※神戸リエゾン・ラボの事業運営は、指定管理者の業務の範囲外

2. 指定管理に関する基本情報

(1)指定管理者名	神戸電鉄グループ共同事業体
(2)指定期間	令和5年4月1日から令和10年3月31日まで (5年間)
(3)選定方法	公募 (応募団体数: 1)
(4)R7年度 市支出額(単位:円)	協定締結額(当初) 162,070,000円 (決算額)159,656,971円

3. 令和7年度管理運営の主な実績 ※特に評価の対象とした実績を抜粋

評価項目	令和7年度の主な実績
(1)管理実施状況	
①施設の維持管理業務	・保全業務(施設・設備の運転・監視及び日常点検・保全業務、定期点検・保守業務等) ・修繕及び改修工事等(修繕、改修工事、改造・改装等) ・清掃業務(日常清掃、定期清掃、ごみ処理等) ・保安警備業務(防災監視業務、警備業務、駐車場管理業務、巡回業務、緊急対処業務、工場内秩序維持 等) 【令和7年度の主な取り組み】 ・施設、設備の経年劣化対策(建物・設備の点検及び懸案箇所に係る内部監査を実施し、優先度を考慮した修繕工事を順次実施) ・清掃業務(日常清掃・定期清掃を行うとともに、構内巡回や衛生面にも配慮した対策を実施) ・保安警備業務(24時間警備・不法投棄への警戒業務、危険樹木の撤去伐採、入場口開閉時間や防犯カメラの配置、南門に非常用インターホンを設置するなど日々の警備体制の見直し) ・営繕工事を要する箇所の提案を行った。神戸市の実施する工事が複数同時進行するため通常以上の現場調整が必要であった。入居企業との調整も多く行った。
②施設の運営業務	・利用及びその制限に関する業務 (公募、使用許可・取消、使用者からの承認・届出申請対応、防火管理等) ・使用料の徴収、減額、免除及び返還に関する業務 (使用料等の徴収補助業務、債権管理補助業務等) 【令和7年度の主な取り組み】 ・使用料等の納付指導を行い、特に3か月未満の初期滞納者に対する取組みを実施した。 ・退去企業の機器の搬入搬出支援、処分・修繕工事等の円滑化 ・「防災タイムス」を配布し、防災・安全管理面の意識啓発を行うとともに、調整会議での情報共有を行った。 ・入居企業を対象に防火防災訓練・講習会を実施した。 ・共用部(廊下)に残置している資材等に関し、口頭及び文書による巡回指導、撤去勧告を実施した。 ・不正駐車防止、改善指導、駐輪場の放置自転車等の対応 ・教育旅行やオープンファクトリーの受け入れを行った。 ・ものテラス(交流スペース、商談室等)の管理運営、会議室予約システム(オンライン予約)の開始。 ・ものテラス内に支援機関のチラシ等を設置し、入居企業に有益な情報提供を行った。
③自主事業等	・入居企業の活性化に向けた取組みを実施(入居企業で組織する活性化協議会との協働、神戸リエゾン・ラボとの連携) ・利便施設の効果的な運営を実施(自動販売機等の設置) 【令和7年度の主な取り組み】 (1)活性化に向けた取組み ・「トライやる・ウィーク」「教育旅行」の受け入れ協力を行った。 ・ものづくり工場内入居企業が周辺エリアで開催される「オープンファクトリー」に参加、指定管理者として、出展企業募集ならびに当日運営の調整や補助も実施。 ・活性化協議会主催の交流会を開催し、開催に向けた支援を行った。 (2)スタートアップブースの運営 ・スタートアップブースの募集、管理運営。
(2)利用状況	
①施設の利用者数	▼ 生産施設利用率(算出方法:使用許可(入退去)件数による) 目標 90.3% 実績 95.0% 達成 要因 入居希望が多いため ▼ 駐車場利用率(算出方法:使用許可(入退去)件数による) 目標 82.3% 実績 87.8% 達成 要因 不正駐車防止、利用率の低い機械式駐車場の下段割引をPR

(3)収支状況										
①使用料収入	目標	373850 千円	実績	362,204千円	未達成	要因	初期滞納者への納付指導の取組みにより、新規滞納者の発生抑制に努めるとともに、滞納総額の縮減に努める。(R7収納率95%)			
②収支バランス	収入		159,656千円	支出		168,912千円	収支の差	-9,256千円	目標	未達成
	指定管理料		159,656千円	人件費		18,994千円	備品費	0千円	必要な管理を行うため、 人員及び人件費の増	
	内訳		警備費		17,072千円	消耗品費	0千円			
			清掃費		11,413千円	管理事務費	4,267千円			
			設備費		19,114千円	活性化協議会	524千円			
			修繕費		19,432千円					
			光熱水費		78,096千円					
(4)満足度調査の結果等										
①調査概要	調査期間:①1回目(令和7年10月18日～10月31日)、②2回目(令和8年3月17日～3月27日) 調査方法:アンケート用紙による 回答者数:①52件(51.5%)、②48件(50.5%) 設問数:①3問、②4問 主な質問項目:管理事務所の対応、管理状況、満足度									
②結果(満足度)	▼ 職員対応の満足度(算出方法:「大変満足」・「どちらかといえば満足」と回答した人の割合)									
	目標	70%	実績	90%	達成	要因	丁寧な対応であると評価いただいている。(参考)令和6年度84%			
	▼ 施設管理の満足度(算出方法:「大変満足」・「どちらかといえば満足」と回答した人の割合)									
	目標	70%	実績	85%	達成	要因	清掃、警備等丁寧であると評価いただいている。 (参考)令和6年度84%			
	▼ 管理運営全体の満足度(算出方法:「大変満足」・「どちらかといえば満足」と回答した人の割合)									
	目標	70%	実績	84%	達成	要因	概ね満足と評価いただいている。(参考)令和6年度74%			
③主な意見・苦情、対応	一部入居者の共用部分への資材残置等への対応を求める声がある。過去の意見(荷捌き場の設定、喫煙所の設置、会議室オンライン予約)に対しては対応を行ったことにより解消されている。									

4. 項目別評価

評価項目	5段階評価	評価の理由
(1)管理実施状況	提案をやや上回る	提案値等の実績が1.2倍以上1.5倍未満であったため。
(2)利用状況	ほぼ提案どおり	仕様で定めた事項を適切に履行し、サービスの質的にも期待した水準であったため。
(3)収支状況	提案をやや下回る	提案値等は達成できなかったが、その原因が明らかに指定管理者の責めに帰さない事由によるため。
(4)満足度調査の結果等	提案をやや上回る	提案値等の実績が1.2倍以上1.5倍未満であったため。

5. 総合評価

評価項目	(A)配点	(B)項目別評価の係数換算	評価点(A×B)
(1)管理実施状況	50 点	1.2 (提案をやや上回る)	60
(2)利用状況	20 点	1.0 (ほぼ提案どおり)	20
(3)収支状況	20 点	0.8 (提案をやや下回る)	16
(4)満足度調査の結果等	10 点	1.2 (提案をやや上回る)	12
評価点の合計			108 点
総合評価			AA

令和7年度 神戸ファッション美術館の管理運営に対する評価票

1. 施設概要

(1)設置目的	ファッションに関する産業及び文化の振興を図るため、人材育成、情報発信、集客等の機能を備えたファッション振興の拠点として平成9年4月に設置。
(2)事業内容	展示室において年間5回の特別展を開催、併せて当館収蔵品のコレクション展も開催し、受付業務及び展示室運営業務を実施する。またライブラリーの運営業務及び貸館(セミナー室、ギャラリー、ホール)の申込受付及び運営業務を実施する。
(3)施設内容	展示室(1階)、ライブラリー(3階)、資料室(4階)、セミナー室(4階)、ギャラリー(4階)、ホール(5階)を有する。

2. 指定管理に関する基本情報

(1)指定管理者名	神戸新聞地域創造・神戸新聞事業社共同事業体
(2)指定期間	令和5年4月1日から令和10年3月31日まで（5年間）
(3)選定方法	公募（応募団体数:1）
(4)R7年度 市支出額(単位:円)	協定締結額(当初) 274,491,000円（決算額） 277,891,000円

3. 令和7年度管理運営の主な実績 ※特に評価の対象とした実績を抜粋

評価項目		令和7年度の主な実績													
(1)管理実施状況															
①施設の維持管理業務		修繕については、令和6年度と令和7年度の2年にかけて展示室壁塗装工事を実施、施設の魅力向上に努め、突発的な1階一般客用女性トイレ排気ファン更新工事等にも対応した。また館内ネットセキュリティ、事務所ネットワークサーバー更新工事も実施した。清掃業務・警備業務は一定基準満たしており、電話やエレベーター等の保守点検、また法令点検のフロア点検等も実施、維持管理に努めている。													
②施設の運営業務		施設運営については、展示室・ライブラリー・オルビスホールともに特に問題なく運営出来ており、スタッフも安定して一定の水準は満たしているが、入館者数及び使用料の数字の実績が残らなかった。													
③自主事業等		自主事業は特別展ごとに講演会・記念対談を開催、ワークショップも積極的に実施し、例年より参加者数は増加した。服飾講座・展示解説も積極的に受入れ、共に回数は増えている。また新たな試みとして、夏に近隣の3館と連携、絵本原画展の4館で周遊企画を実施した。													
(2)利用状況															
①施設の利用者数		▼ 展示室入館者数（算出方法：評価対象期間中の展示室に入館した総数）													
		目標	100,000人	実績	47,379人	未達成	要因	展示内容の満足度は高水準であったものの、ファミリー層を含む幅広い来館者層への訴求が十分ではなく、入館者数は目標を大きく下回った。今後は企画内容と広報手法の両面から、未訪者層への訴求強化が必要である。							
		▼ 神戸ファッション美術館総入館者数（算出方法：評価対象期間中の神戸ファッション美術館に入館した総数）													
		目標	204,400人	実績	193,778人	未達成	要因	展示室入館者数の減少をライブラリー利用や貸館利用で補うことができず、総入館者数は目標を下回った。館全体の集客を牽引する展示事業の訴求力強化が課題である。							
		▼ ホール・セミナー室利用率（算出方法：評価対象期間中のホール・セミナー室のコマ基準（午前・午後・夜間）による利用率）													
		目標	目標平均31%	実績	18.19%	未達成	要因	令和6年度より平均ポイントは少し下がったが、ホールは土日祝利用率が65.18%であった一方、平日利用率は17.46%にとどまり、平日利用の低迷が全体の利用率に影響した。							
②各種事業の参加者数		▼ 服飾講座受講者数（概要：評価対象期間中の団体客向け服飾講座・展示解説参加人数）													
		目標	3,400人	実績	1,386人	未達成	要因	団体客向けの服飾講座・展示解説の参加者数は増加したものの、オンライン服飾講座の視聴者数が減少したため、全体として目標を下回った。オンライン講座の周知方法や配信内容の訴求力に課題が残った。							
		▼ 特別展開連自主事業（概要：評価対象期間中の特別展に関連して実施したイベント総参加人数）													
		目標	過去平均1,190人	実績	972人	未達成	要因	講演会・記念対談、ワークショップ等の参加者数は増加したものの、前年度に実施していた日展作品解説会がなくなったことに加え、オンライン服飾セミナーの視聴者数が伸び悩んだため、全体として目標を下回った。							
		▼ 情報発信事業（概要：評価対象期間中のホームページページビュー総数）													
		目標	670,000PV	実績	699,624PV	達成	要因	ホームページのページビュー数は目標を上回ったものの、前年度実績と比較すると大きく減少した。							
(3)収支状況															
①使用料収入		目標	57,000千円	実績	29,697千円	未達成	要因	入館料収入が圧倒的に少なかった。							
②収支バランス		収入		278,294千円		支出		275,493千円		収支の差 2,801千円		目標	達成		
		指定管理料		274,491千円		人件費		87,062千円		事務費		8,872千円		全体収支は黒字となったものの、使用料収入、特に入館料収入が目標に大きく届かなかった。	
		その他		3,803千円		警備費		4,523千円		展示事業費		51,678千円			
		内訳			内訳	清掃費		3,984千円		ホール運営費		4,766千円			
						保守管理費		11,792千円		ライブラリー運営費		5,685千円			
						修繕費		6,253千円		広報費		9,767千円			
						光熱水費		79,781千円		その他		1,323千円			

(4)満足度調査の結果等					
①調査概要	調査期間: 令和7年4月1日～3月31日(計1年間)※展示室は展示入替中は除く				
	調査方法: アンケート用紙				
②結果(満足度)	回答者数: 展示室3,931件、ライブラリー86件※共に回答選択式				
	設問数: 展示室計13問、ライブラリー計14問				
	主な質問項目: 展示内容・ライブラリー利用・スタッフ対応・清掃の満足度及びお客様情報、認知経路、来館経路、来館頻度など				
	▼ 展示内容の満足度 (算出方法:「特別展はいかがでしたか?」という質問に「非常に良かった」「どちらかといえば良かった」と回答した割合)				
	目標	過去平均98.43%	実績	98.87%	達成 要因 特別展の内容や展示構成が来館者の関心に合致したことにより、満足度は高水準を維持した。 (参考) 令和6年度 98.78%
	▼ ライブラリー利用の満足度 (算出方法:「利用目的に役立ちましたか?」という質問に「非常に役立った」「どちらかといえば役立った」と回答した割合)				
	目標	過去平均94.88%	実績	90.70%	未達成 要因 趣味目的の利用に加え、研究・学習目的での利用が増加しており、より専門性の高い資料へのニーズが高まっている。こうしたニーズへの対応が十分でなかったことから、満足度は目標を下回ったものと考えられる。 (参考) 令和6年度 95.06%
	▼ スタッフ対応の満足度 (算出方法:「スタッフ対応はいかがでしたか?」という質問に「非常に良かった」「どちらかといえば良かった」と回答した割合)				
	目標	過去平均79.27%	実績	82.33%	達成 要因 スタッフの定着により、案内・接客対応が安定して行われたことが、満足度の向上につながったものと考えられる。 (参考) 令和6年度 80.19%
	▼ 清掃の満足度 (算出方法: 館内清掃は行き届いていましたか?」とう質問に「非常に清潔だった」「どちらかといえば清潔だった」と回答した割合)				
	目標	過去平均93.16%	実績	94.78%	達成 要因 日常清掃や巡回時の確認を継続して実施し、館内の清潔な環境を維持できたことにより、清掃に対する満足度は高水準を維持した。 (参考) 令和6年度 94.17%
	③主な意見・苦情、対応				
	・年配の方が来館される展示が多かったため、椅子の設置をして欲しい(増やして欲しい)とのご希望が数件あり、展示の邪魔にならないようできる限り設置をした。				
	・ライブラリーコピーサービス(自主事業)の料金設定が少し高いとのご意見があり、令和7年4月1日より神戸市立図書館と同料金とした。				

4. 項目別評価

評価項目	5段階評価	評価の理由
(1)管理実施状況	ほぼ提案どおり	仕様で定めた事項を適切に履行し、サービスの質的にも期待した水準であったため。
(2)利用状況	提案を大幅に下回る	提案値等を達成できなかったため(0.8倍未満)
(3)収支状況	ほぼ提案どおり	仕様で定めた事項を適切に履行し、提案をやや上回る効果があったため。
(4)満足度調査の結果等	ほぼ提案どおり	仕様で定めた事項を適切に履行し、提案をやや上回る効果があったため。

5. 総合評価

評価項目	(A)配点	(B)項目別評価の係数換算	評価点(A×B)
(1)管理実施状況	40 点	1.0 (ほぼ提案どおり)	40
(2)利用状況	40 点	0.6 (提案を大幅に下回る)	24
(3)収支状況	10 点	1.0 (ほぼ提案どおり)	10
(4)満足度調査の結果等	10 点	1.0 (ほぼ提案どおり)	10
評価点の合計			84 点
総合評価			A

※評価点(合計)の総合評価変換
【AAA】150～121点、【AA】120～101点、【A】100～81点、【B】80～61点、【C】60点

令和7年度 神戸国際会議場・神戸国際展示場の管理運営に対する評価票

1. 施設概要

(1)設置目的	・国際会議場 … 国際交流の推進並びに市民の文化の向上及び福祉の増進を図るために設置 ・国際展示場 … 産業貿易の振興及び経済交流の促進並びに市民の福祉の増進を図るために設置
(2)事業内容	グローバルMICE都市神戸の中核施設として、国際会議、医学会、展示会やイベント、大会や式典といった多様な催事に活用
(3)施設内容	・国際会議場 … メインホール(B1～2F)、国際会議室(3F)、レセプションホール(3F)、会議室(4,5F) ・国際展示場 … 1号館展示面積3,000㎡(1F)、3,000㎡(2F)、2号館展示面積3,800㎡(1F)、会議室(2,3F)、3号館展示面積3,800㎡(1F)

2. 指定管理に関する基本情報

(1)指定管理者名	神戸コンベンションコンソーシアム（代表者 一般財団法人 神戸観光局）
(2)指定期間	令和4年4月1日から令和8年3月31日まで（4年間）
(3)選定方法	公募（応募団体数： 1 ）
(4)R7年度 市支出額(単位:円)	市支出は無し(利用料金制を採択)

3. 令和7年度管理運営の主な実績 ※特に評価の対象とした実績を抜粋

評価項目	令和7年度の主な実績
(1)管理実施状況	
①施設の維持管理業務	<施設の整備・改修> ●国際会議場：メインホール舞台用幕地一部更新、メインホール他調光基盤修理、レセプションホール雨漏り補修、便器補修 他 ●国際展示場：吸収式冷温水発生機気密部品整備、自動ドア部品(開閉装置一式)更新、ホール床補修、駐車場入ロイン補修工事 他 <新たな施設の魅力向上のための投資> 令和7年度実施なし(計画書どおり)
②施設の運営業務	<令和7年度に開催された主な催事> ・第29回 神戸国際宝飾展(IJK)(展示場、13,000名) ・第72回日本麻酔科学会・学術集会(会議場・展示場、11,000名) ・国際フロンティア産業メッセ2025(展示場、14,700名) ・建設業労働災害防止協会 全国大会(展示場、9,800名) ・第33回日本消化器関連学会週間(JDDW2025)(会議場・展示場、23,000名) ・神戸マラソン2025EXPO(展示場、30,000名) ・ワールドバーゲンセール(展示場、計6回開催 のべ126,135名) ・テクノオーシャン2025(展示場、9,758名) ・私立大学(立命館、同志社、関大)入学試験会場(会議場・展示場、18日開催 のべ 15,884名) <開催件数・参加者数> ●会議場 321件 188,151名 ●展示場 172件 562,922名 計 493件 751,073名 <広報活動> ・観光部門・港湾部門・コンベンションビューローと連携し、開催される催事情報のみならず、市内全体の最新情報をメールマガジンで発信したほか、神戸のプロモーションビデオを主催者に提供した。 <ボードメンバー会議の事業展開> ・神戸コンベンションコンソーシアム構成団体の強みを活かした管理運営体制のもとボードメンバー会議を組織している。 誘致、おもてなし、顧客満足、危機管理の観点から委員会機能を設置し、取り組むべきMICEのトレンドや課題に対して継続的に成果の向上を図った。 <神戸コンベンションセンター協議会の事業展開> ・国際会議等の神戸開催を歓迎するとともに、MICEを通じた地域の活性化に寄与するため、神戸商工会議所及び周辺施設メンバーを構成員とした神戸コンベンションセンター協議会を組織している。 ・市民広場駅周辺の清掃活動を実施した。 ・ボーアイ4大学連携推進センターと連携して神戸マラソンEXPO関連施設周辺の清掃活動に参加・協賛した。
③自主事業等	<イノベーションが生まれ続けるMICE中核施設としての取組> ・神戸大学内の全学部横断的組織「神戸大学バリュースクール(通称：Vスクール)」と連携し、令和6年度に実施した施設職員と学生と共同でワークショップで出されたアイデアの1つである「記憶に残す発想と行動」の実現を目指し、神戸のまちの印象を記憶に残す色「神戸国際会議場 × Kobe INK物語」として、神戸国際会議場の会議室の案内表示(デジタルサイネージ)に、神戸の街の色を表現した「Kobe INK 物語」の色彩を導入。神戸国際会議場を利用する国内外の来場者に、神戸のまちの魅力を発信、周遊促進に努めた。 <主催者への開催支援> ・コンベンションビューローおよび構成団体である日本コンベンションサービス、神戸ポートピアホテルの持つ多様なサービスメニューを活用し、MICE開催を支援した。大型医学会において、神戸ならではのスイーツブランド、オリジンコウベの8店舗のシェフとコラボし、全国からお越しの参加者に神戸スイーツコーナーをアレンジしたほか、国際会議等において、神戸ならではのユニークベニュー・体験プログラムを提案し、参加者の満足度向上に努めた。 <市民参加型コンベンションの促進> ・コンベンションビューローと連携し、神戸市のMICE中核施設として、開催される催事の効果が、地域のみならず広く市内、市民へ還元され、市民文化の向上、市民啓発、レガシーの誘発を生み出す取り組みを行った。具体的には、医学会と併催で行われる市民公開講座の開催にあたって、ポートアイランド住民向けポータルサイト「ためまっぷ」に情報掲載を行い、集客に努めたほか、防災・防犯・救急をテーマに、親子で楽しく学べる体験型イベント「ファミリーフェスタ in ポートアイランド」に支援協力した。 <国際会議場施設協議会・全国展示場連絡協議会への参加> ・国際会議場施設協議会及び全国展示場連絡協議会の主催する会議に参加し、施設の運営改善に向け各施設との情報交換を積極的に行った。 <障害者の雇用の促進> ・国際展示場の低木植栽剪定作業について、知的障害者の雇用の場を確保し、自立した生活を送れるよう支援していくことを使命としている多数障害者雇用企業である株式会社いぐせいに委託し、障害者の雇用促進を図った。 <高齢者の積極的な雇用> ・休日等の事務所電話対応等を神戸市シルバー人材センターに依頼し、高齢者の雇用促進を図った。 <CO2削減への取組> ・神戸市が推進する「こうべCO2バンク」に協力し、カーボンクレジット48トンを購入した。 ・神戸市が推進する「水素CGS活用スマートコミュニティ技術開発事業」の一環である神戸水素コージェネレーションシステムのエネルギーセンターで発電した電力を展示場3号館で受電することで環境負荷を低減したエネルギーの利活用を行った。 <危機管理への対応> ・「神戸国際会議場・展示場における災害時危機管理マニュアル」を配布し、風水害・火災・地震などの自然災害に備えて、「安全」かつ「安心」な対応方法をお客様へお知らせした。 ・高齢者や障害者等を含むすべての利用者が安心して施設に来場できる環境を整えるための一環として、施設職員に対し、市民救命士及び防火・防災管理者、自衛消防業務の資格取得・資格更新を促進した。 ・危機管理の3大事象「事件」「事故」「災害」に対応するため、神戸水上警察署等の関係部署と連携し、月1回の打合せを行い、防犯・安全対策の強化を図った。

(2)利用状況

①施設の利用者数

●国際会議場

▼入館者数（算出方法：主催者発表の参加者数から）

目標

-

実績

188,151人

要因

▼貸室利用率（算出方法：評価対象期間中の各貸室の使用枠(午前・午後)の実績数の合計÷営業日数÷部屋数×100)

目標

33.2%

実績

33.3%

要因

①施設の利用者数

●国際展示場

▼入館者数（算出方法：主催者発表の参加者数から）

目標

-

実績

562,922人

要因

▼貸室利用率（算出方法：評価対象期間中の各館の使用㎡数の実績数の合計÷営業日数÷各館㎡数合計×100）

目標

42.2%

実績

40.8%

要因

万博に伴うコスト増等の懸念で、大型催事予約が低調であった

②各種事業の参加者数

▼ Meeting（概要：会議・研修・セミナーなど）

目標

-

実績

62,192人(116件)

要因

▼ Incentive（概要：インセンティブ旅行・報奨・研修旅行など）

目標

-

実績

43,292人(7件)

要因

▼ Convension（概要：コンベンション・大会・学会・国際会議など）

目標

-

実績

351,669人(291件)

要因

▼ Exhibition/Event（概要：展示会・見本市・イベントなど）

目標

-

実績

293,920人(79件)

要因

(3)収支状況

①利用料金収入

目標

262,940千円

実績

314,883千円

要因

コロナ禍の提案時より業界の回復が早かったため

②収支バランス

●国際会議場

収入

314,883千円

支出

361,895千円

収支の差

-47,012千円

目標

未達成

内訳

内訳

業務委託費

211,397千円

事業所税

6,577千円

光熱水費

50,217千円

修繕費

6,093千円

人件費

46,675千円

通信費

3,317千円

本部経費

11,583千円

消耗品費

2,502千円

負担補助及交付

9,040千円

旅費交通費

442千円

支払消費税

8,128千円

その他

5,926千円

3・4年前の大型学会誘致時期にR7関西万博に伴うコスト増加懸念により主催者が関西圏全体を避けたこと、影響不透明を理由に大型MICEの他都市流出したことで予約件数が伸び悩んだこと、および近年の光熱費の高騰が収支減少の主な要因。(提案時は支出に本部経費含まず)

①利用料金収入

目標

787,234千円

実績

825,151千円

要因

コロナ禍の提案時より業界の回復が早かったため

②収支バランス

●国際展示場

収入

825,151千円

支出

859,934千円

収支の差

-34,783千円

目標

未達成

内訳

内訳

業務委託費

295,395千円

支払消費税

26,105千円

市納付金

250,000千円

事業所税

20,384千円

光熱水費

139,060千円

使用料及手数料

11,526千円

人権費

48,205千円

負担補助及交付

1,915千円

修繕費

31,849千円

消耗品費

1,856千円

本部経費

30,352千円

その他

3,287千円

3・4年前の大型学会誘致時期にR7関西万博に伴うコスト増加懸念により主催者が関西圏全体を避けたこと、影響不透明を理由に大型MICEの他都市流出したことで予約件数が伸び悩んだこと、および近年の光熱費の高騰が収支減少の主な要因。(提案時は支出に本部経費含まず)

(4)満足度調査の結果等

①調査概要

●国際会議場

調査期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日（計12か月間）

調査方法：アンケート用紙に記入。

回答者数：99

設問数：6

主な質問項目：施設選択理由、料金の適切さ、施設設備の状況、スタッフの対応、今後利用の可能性

②結果（満足度）

▼施設選択理由（算出方法：「催事規模・内容で適切」「利用料が手ごろ」「以前利用してよかった」と回答した人の割合）

目標

昨年度実績74%

実績

71%

要因

利用者が、規模に合う会場と手頃な価格を評価したためと推察される※参考(令和6年度)：74%

▼料金の満足度（算出方法：「安い」「やや安い」「普通」と回答した人の割合）

目標

昨年度実績87%

実績

87%

要因

競合に比べ良心的な価格設定や、妥当な料金体系と受け取られた※参考(令和6年度)：87%

▼施設設備の状況の満足度（算出方法：「とても良い」「良い」と回答した人の割合）

目標

過去3年平均72%

実績

83%

要因

設備の維持管理を適切に保ち、利用者の期待に応えられた※参考(令和6年度)：75%

▼スタッフの対応の満足度（算出方法：「とても良い」「良い」と回答した人の割合）

目標

過去3年平均89%

実績

95%

要因

丁寧で迅速な接客、柔軟な顧客対応を徹底しているため※参考(令和6年度)：88%

▼今後利用の可能性(算出方法：「今後も利用したい」「利用を考えてもよい」と回答した人の割合）

目標

過去3年平均88%

実績

94%

要因

高い顧客満足度と、これまでの利用実績による信頼があるため※参考(令和6年度)：97%

③主な意見・苦情、対応

アイテムの品質が心配。Wi-Fiがつながりにくい等の意見に対し、令和8年度の魅力向上投資においてWi-Fiのアクセスポイントを最新機器に更新するほか、老朽化している備品についても順次更新を検討している

①調査概要 ●国際展示場	調査期間:令和7年4月1日～令和8年3月31日(計12か月間) 調査方法:アンケート用紙及びWEB 回答者数:78 設問数:6 主な質問項目:施設選択理由、料金の適切さ、施設設備の状況、スタッフの対応、今後利用の可能性				
②結果(満足度)	▼ 施設選択理由 (算出方法:「催事規模・内容で適切」「利用料が手ごろ」「以前利用してよかった」と回答した人の割合)※複数回答				
	目標	昨年度実績 125%	実績	125%	要因 会場規模が多様な催事ニーズとの確に合致していると考えられる ※参考(令和6年度):125%
	▼ 料金の満足度 (算出方法:「安い」「やや安い」「普通」と回答した人の割合)				
	目標	昨年度実績 90%	実績	90%	要因 競合に比べ良心的な価格設定や、妥当な料金体系と受け取られた ※参考(令和6年度):90%
	▼ 施設設備の状況の満足度 (算出方法:「とても良い」「良い」と回答した人の割合)				
	目標	過去3年平均 66%	実績	92%	要因 設備の維持管理を適切に保ち、利用者の期待に応えられた ※参考(令和6年度):73%
	▼ スタッフの対応の満足度 (算出方法:「とても良い」「良い」と回答した人の割合)				
	目標	過去3年平均 95%	実績	100%	要因 丁寧で迅速な接客、柔軟な顧客対応を徹底している成果 ※参考(令和6年度):96%
	▼ 今後利用の可能性(算出方法:「今後も利用したい」「利用を考えてもよい」と回答した人の割合)				
	目標	過去3年平均 94%	実績	95%	要因 高い顧客満足度と、これまでの利用実績による信頼があるため ※参考(令和6年度):95%
③主な意見・苦情、対応	インターネットの回線が弱いとの意見に対し、令和8年度の魅力向上投資においてWi-Fiのアクセスポイント・館内光回線を更新する予定。照明が暗いとの意見に対しては、大規模改修時にLED化を検討。				

4. 項目別評価

評価項目	5段階評価	評価の理由
(1)管理実施状況	提案をやや上回る	仕様で定めた事項を適切に履行し、提案を大幅に上回る効果があったため。
(2)利用状況	ほぼ提案どおり	仕様で定めた事項を適切に履行し、サービスの質的にも期待した水準であったため。
(3)収支状況	提案を大幅に下回る	提案値等を達成できなかったため(0.8倍未満)
(4)満足度調査の結果等	提案をやや上回る	仕様で定めた事項を適切に履行し、提案をやや上回る効果があったため。

5. 総合評価

評価項目	(A)配点	(B)項目別評価の係数換算		評価点(A×B)
(1)管理実施状況	40 点	1.2	(提案をやや上回る)	48
(2)利用状況	30 点	1.0	(ほぼ提案どおり)	30
(3)収支状況	20 点	0.6	(提案を大幅に下回る)	12
(4)満足度調査の結果等	10 点	1.2	(提案をやや上回る)	12
※評価点(合計)の総合評価変換 【AAA】150～121点, 【AA】120～101点, 【A】100～81点, 【B】80～61点, 【C】60点			評価点の合計	102 点
			総合評価	AA

令和7年度 有馬温泉の館(金の湯・銀の湯)、有馬温泉観光交流センター、太閤の湯殿館の管理運営に対する評価票

1. 施設概要

(1)設置目的	＜有馬温泉の館＞ 有馬温泉における温泉資源を適切かつ有効に活用することにより、市民及び他からの観光客の健康増進を図るとともに、神戸の観光振興に資するため設置。 ＜有馬温泉観光交流センター＞ 有馬温泉における地域の活性化を図るとともに、伝統的な芸能及び風俗慣習の実演及び体験の場を提供し、また有馬温泉の観光資源を紹介することにより、神戸観光の振興に資するため設置。 ＜太閤の湯殿館＞ 太閤秀吉ゆかりの湯山御殿の遺構及び出土品その他歴史資料の保存及び活用を図ることにより、有馬温泉の歴史及び文化に接する機会を提供するとともに、神戸観光の振興に資するため設置。												
(2)事業内容	＜有馬温泉の館＞ 金泉と呼ばれる赤褐色の温泉を有する「金の湯」と、銀泉と呼ばれる無色透明の温泉を有する「銀の湯」を提供すること。 有馬温泉における上記の温泉資源を適切かつ有効に活用すること。 他、(1)の設置目的を達成するため必要な事業。 ＜有馬温泉観光交流センター＞ 伝統的な芸能及び風俗慣習の実演及び体験の場を提供し、また有馬温泉の観光資源を紹介する展示を行う。 他、(1)の設置目的を達成するため必要な事業。 ＜太閤の湯殿館＞ 太閤秀吉ゆかりの湯山御殿の遺構及び出土品その他歴史資料の展示を行う。 他、(1)の設置目的を達成するため必要な事業。												
(3)施設内容	＜有馬温泉の館＞ 金泉と呼ばれる赤褐色の温泉を有する「金の湯」と、銀泉と呼ばれる無色透明の温泉を有する「銀の湯」の2施設があり、温泉入浴施設のほか、ロビーや休憩施設などの便益施設を有する。 <table><tr><td>・浴室面積</td><td>金の湯</td><td>183㎡（男93㎡、女90㎡）</td></tr><tr><td></td><td>銀の湯</td><td>123㎡（男65㎡、女58㎡）</td></tr><tr><td>・浴槽面積</td><td>金の湯</td><td>58㎡（男29㎡、女29㎡）</td></tr><tr><td></td><td>銀の湯</td><td>44㎡（男23㎡、女21㎡）</td></tr></table> ＜有馬温泉観光交流センター＞ 多目的室、会議室、和室、ギャラリー・ロビー、その他の便益施設 ＜太閤の湯殿館＞ 展示室、庭園、和室、その他の便益施設	・浴室面積	金の湯	183㎡（男93㎡、女90㎡）		銀の湯	123㎡（男65㎡、女58㎡）	・浴槽面積	金の湯	58㎡（男29㎡、女29㎡）		銀の湯	44㎡（男23㎡、女21㎡）
・浴室面積	金の湯	183㎡（男93㎡、女90㎡）											
	銀の湯	123㎡（男65㎡、女58㎡）											
・浴槽面積	金の湯	58㎡（男29㎡、女29㎡）											
	銀の湯	44㎡（男23㎡、女21㎡）											

2. 指定管理に関する基本情報

(1)指定管理者名	一般財団法人神戸観光局
(2)指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日（5年間）
(3)選定方法	公募（応募団体数： 1 ）
(4)R7年度 市支出額(単位:円)	市支出は無し(利用料金収入等、指定管理者の収入のみで運営)

3. 令和7年度管理運営の主な実績 ※特に評価の対象とした実績を抜粋

評価項目	令和7年度の主な実績
(1)管理実施状況	
①施設の維持管理業務	(1)建物の管理 ＜有馬温泉の館＞ 指定管理者直接雇用のスタッフにより営業時間中は巡回清掃を実施し、利用者が快適に過ごせる環境を提供した。営業時間外の夜間は、浴槽清掃や脱衣場、ロビー、高所などのパブリックの場所について専門の業者に委託し、仕様書に基づき実施した。また、夜間警備については夜間浴槽清掃スタッフ(外注)が常駐し、不測の事案について初期対応及び職員連絡などに対応できる体制を整えている。 ＜有馬温泉観光交流センター・太閤の湯殿館＞ 営業時間中の清掃については指定管理者直接雇用のスタッフにより休憩室やロビー、その他の巡回清掃を実施した。休館日は適宜専門業者による清掃を実施した。庭園の管理については、定期的に清掃・剪定を行い、良好な状態を保持した。夜間警備については機械警備を導入しており、緊急事案に対応できる体制を整えている。 (2)設備の管理 ＜有馬温泉の館＞ 日常運転監視業務と法令点検をはじめ、各種の保守点検及び整備を専門業者に委託しており、設備の円滑な運転と設備の良好な状態の保持に努めた。 ＜有馬温泉観光交流センター・太閤の湯殿館＞ 専門的な要員は配置していないが、異常があれば職員が対応し、対応ができない場合は専門業者に対応を依頼している。必要な点検等は専門の業者に委託し、設備、機器の良好な稼働に努めた。 (3)施設の保全 日常業務の中において点検整備、清掃などを通して故障防止や早期発見に努めた。また、故障があった場合においても、迅速に対応できる体制を整備し、施設の営業に影響のないよう、営業終了後や休館日を中心に補修を実施した。

②施設の運営業務	・利用者に対し適切な対応を行い、円滑な施設運営を実施した。 ・利用者の安全・安心の確保に向け、多客時には入館制限を実施し館内混雑の緩和に努めるとともに、「湯あたり」への注意喚起や手荷物管理に関する案内放送を行うなど、快適かつ安全に利用できる環境づくりに取り組んだ。 ・誘客促進に向けた取組として、4館共通パンフレットを新たに作成し、利用者数の多い「金の湯」及び「銀の湯」の利用者に対し、「有馬温泉観光交流センター」や「太閤の湯殿館」への周遊を促進した。また、パンフレットの配架やSNS等を活用した広報を実施し、施設の認知度向上及び利用促進に取り組んだ ・市が実施した施設改修工事において、利用者への周知や運営調整等に協力したほか、工事期間中(令和8年2月17日～3月16日)には足湯運営に協力し、利用者サービスの維持に努めた。 ・有馬温泉観光交流センターでは、多目的ホールを活用した「有馬温泉湯けむりアート展」の開催をはじめ、施設の利用促進及び地域文化の振興に取り組んだ。 【工事による休館】 ・金の湯: 令和8年1月7日～令和8年3月16日(69日間) ・銀の湯: 令和7年6月3日～令和7年6月17日(15日間) ・太閤の湯殿館: 令和7年6月17日～令和7年6月27日(11日間) ※工事概要 市の宮繕工事として、金の湯の金泉槽のあつゆ、ぬるゆタンクの更新および送湯管改修、浴室シャワー配管更新、ポイラー更新の工事を実施したほか、金の湯、銀の湯、太閤の湯殿館の空調設備について、それぞれ更新を行った。					
③自主事業等	1. 利用客増加に向けた取り組み (1)「六甲・有馬周遊1dayバス」 神戸電鉄をはじめとする阪神間の鉄道会社、六甲山のロープウェー・ケーブルと共同で、乗車券と入浴券をセットにした割引企画券を発売した。 (2)「外湯めぐり」 有馬温泉旅館協同組合加盟旅館の宿泊客に対して、同組合が発行する入浴券で「金の湯」「銀の湯」に宿泊者が無料で利用できるメリットを提供し、入浴料は割引料金(490円/人)で組合が負担するサービスを提供し、利便向上に努めた。 (3)小宿とうじ宿泊者への入浴サービス 有馬温泉観光交流センター3階の宿泊施設「小宿とうじ」の利用者が金の湯、銀の湯の営業時間内に何度でも入浴できる割引料金サービス(1泊1人/平日:650円、休日:800円)を提供し、利便向上に努めた。 2. 令和7年度新たに実施した事業 (1)サービス向上の取組 銀の湯サウナにおいて、利用者サービス向上にむけた取り組みを行った。若年層も含めサウナ人気が根強くあり、休館期間があったにもかかわらず入館者数は前年を上回り、利用者満足度の向上及び誘客促進につながった。 ・ひのき玉(令和7年7月～12月)森林浴気分、消臭、防菌、防カビ効果 ・よもぎ(令和8年1月～3月)血行促進、冷え性、ストレス解消効果 (2)インバウンド対応の実施 神戸市内のインバウンド増加傾向を踏まえ、金の湯前にて、施設案内や入浴マナーなどを紹介する動画を放映するデジタルサイネージを設置した(令和8年2月) (3)大河ドラマを契機とした誘客の取組 太閤の湯殿館において、特別企画「秀吉と有馬温泉～もっと知りたい湯山御殿～」を開催した(令和8年3月19日～)。 ・大河ドラマ「豊臣兄弟!」の放送を契機として、神戸市文化財課等と連携し、施設の自主事業として誘客促進に取り組んだ。 ・企画展の概要は、湯山遺跡発掘調査当時のパネル展示、岩風呂遺構の撮影スポット設置(「ぬい活」需要に対応したぬいぐるみと撮影できる形式)、豊臣秀吉の関連書籍の設置。 ・広報面ではSNSの新規開設及びSNSフォローキャンペーンの実施、プレスリリースを実施した。神戸新聞、NHK、Kiss PRESSに取り上げられるなど、施設及び有馬温泉の魅力発信につながった。 (4)「まちボン～KOBÉ～」の設置 “寄付ができるガチャ”「まちボン～KOBÉ～」を有馬4施設に設置した(令和7年11月1日～)。 有馬温泉にちなんだ温泉関係の写真をカプセルトイの景品として展開しており、利用者から好評を得ている。					
(2)利用状況						
①施設の利用者数 金の湯	▼ 入館者数 (算出方法:評価対象期間中に入場した人の総数。 ※1月～3月工事休館したため、4月～12月の9ヶ月で比較)					
	目標	201,000人	実績	210,109人	達成	要因 神戸市内における国内観光客の動きが堅調に推移したことに加え、訪日外国人観光客の増加が影響していると推測される。また、指定管理者が実施しているプロモーションも影響していると考えられる。(参考) 令和6年度:197,165人(4月～12月)
銀の湯	▼ 入館者数 (算出方法:評価対象期間中に入場した人の総数。)					
	目標	122,000人	実績	138,576人	達成	要因 事業計画時と比較し、神戸市内における国内観光客の動きが堅調に推移したことに加え、訪日外国人観光客の増加が影響していると推測される。また、自主事業として誘客イベントを実施していることも影響していると考えられる。(参考) 令和6年度:120,143人
太閤の湯殿館	▼ 入館者数 (算出方法:評価対象期間中に入場した人の総数。)					
	目標	23,000人	実績	13,947人	未達成	要因 令和6年度指定管理評価委員会で指摘を受けた展示内容や情報発信に関する課題に対し、3月から大河ドラマを契機とした企画展を実施している。目標達成には至っていないものの、入館者数は前年比25%増となっており、一定の誘客促進につながっている。(参考) 令和6年度:11,076人
有馬の工房	▼ 入館者数 (算出方法:評価対象期間中に入場した人の総数。)					
	目標	80,400人	実績	135,618人	達成	要因 事業計画時と比較し、国内旅行者の動きが堅調に推移したことに加え、訪日外国人旅行者の増加が影響していると推測される。また、本施設の3階に宿泊施設があるため、近年の素泊まり需要の増加も影響していると考えられる。(参考) 令和6年度:134,635人

②各種事業の参加者数	▼ 太閤の湯殿館 特別企画「秀吉と有馬温泉～もっと知りたい湯山御殿～」実施の3月の入館者数					
	目標	(前年度) 1,075人	実績	1,780人	達成 要因	大河ドラマを契機とした企画展の実施により、普段来館機会の少ない層への情報発信や来館促進が図られ、創意工夫による誘客促進につながったものと考えられる。令和5年度指定管理評価委員会にて指摘のあった有料利用者の集客にも寄与している。 (参考)3月利用料金収入比較:令和8年3月 318,100円、令和7年3月 193,400円
	外湯巡り (概要:有馬温泉旅館協同組合加盟旅館の宿泊客に対して、同組合が発行する入浴券で「金の湯」「銀の湯」に宿泊者が無料で利用できるメリットを提供し、入浴料は割引料金(490円/人)で組合が負担するサービスを提供する。))※金の湯が1月～3月工事休館したため、4月～12月の9ヶ月で比較					
	目標	(前年度) 11,550人	実績	12,333人	達成 要因	神戸市内における国内観光客の動きが堅調に推移したことに加え、訪日外国人観光客の増加が影響していると推測される。
	小宿とうじ宿泊者への入浴サービス (概要:有馬温泉観光交流センター3階の宿泊施設「小宿とうじ」の利用者が金の湯、銀の湯の営業▼時間内に何度でも入浴できる割引料金サービス(1泊1人/650円)を提供する))※金の湯が1月～3月工事休館したため、4月～12月の9ヶ月で比較					
	目標	(前年度) 2,629人	実績	3,455人	達成 要因	神戸市内における国内観光客の動きが堅調に推移したことに加え、訪日外国人観光客の増加が影響していると推測される。

(3)収支状況

①利用料金収入	目標	284,709千円	実績	312,709千円	達成	要因	神戸市内における国内観光客の動きが堅調に推移したことに加え、訪日外国人観光客の増加が影響していると推測される。			
②収支バランス	収入		312,709千円	支出		325,292千円	収支の差	-12,583千円	目標	未達成
	利用料収入(金の湯)	158,034千円	人件費	97,971千円	【目標値との比較】 (1)収支の差 7,500千円(未達成) <要因> 当初収支計画において見込まれていなかった本部経費負担額(11,468千円)の発生に加え、近年の物価高騰の影響により、人件費や光熱水費等の支出が当初見込みを上回ったことから、収支目標は未達成となった。 一方、金の湯を除く3館の収入は目標を概ね達成しており、金の湯についても工事期間を除いて算定した場合は目標を達成している。 さらに、休館期間を除けば全施設で入館者数が増加し、利用料金収入も事業計画を上回るなど堅調に推移していることから、本部経費負担額の発生や、物価高騰といった特殊要因がなければ、収支目標は達成できたものと想定される。					
	利用料収入(銀の湯)	76,963千円	物件費	190,657千円						
	利用料収入(有馬の工房)	1,811千円	商品仕入費	19,669千円	(2)収入合計 284,709千円(達成) ・金の湯 171,249千円(未達成)※工事の影響による ・銀の湯 61,414千円(達成) ・有馬の工房 1,815千円(概ね達成) ・太閤の湯殿館1,177千円(達成) ・付帯事業収入 49,054千円(達成)					
	利用料収入(太閤の湯殿館)	2,378千円	その他経費	16,995千円						
	付帯事業収入	65,745千円	(3)支出合計 277,209千円(未達成) ※本部経費(11,468千円)は含まれていない ・人件費 77,572千円(未達成) ・物件費 179,787千円(未達成) ・商品仕入れ費 11,184千円(未達成) ・その他経費8,666千円(未達成)							
	その他収入	7,778千円								

(4)満足度調査の結果等					
①調査概要	調査方法 ①施設内に用紙を据え置きアンケート調査を実施…2,402件 対象期間:8月、12月の夏季・冬季の年2回実施 ②QRコードを掲示し通年でネットアンケート調査を実施…61件 対象期間:令和7年4月～令和8年3月 回答者数:金の湯……………1,334件 銀の湯……………626件 太閤の湯殿館……………202件 有馬観光交流センター……………301件 設問数:金の湯…13問、銀の湯…13問、太閤の湯殿館…11問、有馬温泉観光交流センター…14問 主な質問項目:総合評価、従業員の対応について				
	▼金の湯 総合評価（算出方法:「総合評価」の質問に、「大変良い」、「良い」と回答した人の割合）				
	目標	(過去2年平均) 95%	実績	92%	未達成 要因 一部に温泉の温度が高過ぎるとの意見があったものの、これは高温源泉を活用する有馬温泉の特色によるものである。なお、目標未達成ではあるものの、「普通」未満の評価(「悪い」「とても悪い」)は全体の0.4%である6件のみであり、引き続き高水準を維持している。有馬温泉特有の泉質に対する評価が高く、施設の魅力として利用者満足度の維持につながったものと考えられる。(参考)R6年度 95%
	▼銀の湯 総合評価（算出方法:「総合評価」の質問に、「大変良い」「良い」と回答した人の割合）				
	目標	(過去2年平均) 96%	実績	96%	達成 要因 日常的な施設管理やサービス提供の取組が利用者満足度の維持につながったものと考えられる。特に今年度は新たにサウナにひのき玉やよもぎを導入したことにより、高評価の維持に繋がったと考えられる。(参考)R6年度 97%
	▼太閤の湯殿館 総合評価（算出方法:「総合評価」の質問に、「大変良い」「良い」と回答した人の割合）				
	目標	(過去2年平均) 94%	実績	92%	未達成 要因 「普通」と回答した利用者の割合が増加したことによる。目標未達成ではあるものの、「普通」未満の評価は0件であり、引き続き高水準を維持している。3月から自主事業として、大河ドラマを契機とした企画展を実施している。企画展実施後は来場者数が増加しており、一定の改善が図られている。(参考)R6年度 95%
	▼有馬温泉観光交流センター 総合評価（算出方法:「総合評価」の質問に、「大変良い」「良い」と回答した人の割合）				
	目標	(過去2年平均) 96%	実績	93%	未達成 要因 「普通」と回答した利用者の割合が増加したことによる。なお、目標未達成ではあるものの、「普通」未満の評価は0件であり、引き続き高水準を維持している。日常的な施設管理やサービス提供の取組に対しては利用者満足度の維持につながっており、観光の休憩所かつ文化体験施設という役割を果たしている。(参考)R6年度 95%
	▼金の湯 従業員の対応について（算出方法:「従業員の対応について」の質問に、「大変良い」「良い」と回答した人の割合）				
	目標	(過去2年平均) 90%	実績	88%	未達成 要因 「普通」と回答した利用者の割合が増加したことによる。なお、目標未達成ではあるものの、「普通」未満の評価は、全体の0.2%である3件のみであり、引き続き高水準を維持している。スタッフによる丁寧な接客対応の継続に加え、営業時間中の巡回清掃など施設環境の維持管理によるものと考えられる。(参考)R6年度 89%
	▼銀の湯 従業員の対応について（算出方法:「従業員の対応について」の質問に、「大変良い」「良い」と回答した人の割合）				
	目標	(過去2年平均) 92%	実績	92%	達成 要因 スタッフによる丁寧な接客対応の継続に加え、営業時間中の巡回清掃など施設環境の維持管理に努めており、昨年と同等の利用者満足度となっている。(参考)R6年度 92%
	▼有馬温泉観光交流センター 従業員の対応について（算出方法:「従業員の対応について」の質問に、「大変良い」「良い」と回答した人の割合）				
	目標	(過去2年平均) 93%	実績	89%	未達成 要因 アンケート結果において従業員の対応に関する苦情は見られず(「普通」未満の評価は0件)、「普通」と回答した利用者の割合が増加したことによる。施設の利用形態上、従業員と接する機会が限られる中においても、丁寧な接客対応や巡回清掃等の取組を継続しており、利用者満足度を維持しているものと評価できる。(参考)R6年度 93%
③主な意見・苦情、対応		入館者から直接受けた苦情・意見については、必要に応じて担当職員が応対し、適切な処理をおこなっている。			

4. 項目別評価

評価項目	5段階評価	評価の理由
(1)管理実施状況	ほぼ提案どおり	仕様で定めた事項を適切に履行し、サービスの質的にも期待した水準であったため。
(2)利用状況	ほぼ提案どおり	仕様で定めた事項を適切に履行し、サービスの質的にも期待した水準であったため。
(3)収支状況	ほぼ提案どおり	提案値等は達成できなかったが、その原因が明らかに指定管理者の責めに帰さない事由によるため。
(4)満足度調査の結果等	ほぼ提案どおり	仕様で定めた事項を適切に履行し、サービスの質的にも期待した水準であったため。

5. 総合評価

評価項目	(A)配点	(B)項目別評価の係数換算	評価点(A×B)
(1)管理実施状況	55 点	1.0 (ほぼ提案どおり)	55
(2)利用状況	20 点	1.0 (ほぼ提案どおり)	20
(3)収支状況	20 点	1.0 (ほぼ提案どおり)	20
(4)満足度調査の結果等	5 点	1.0 (ほぼ提案どおり)	5
※評価点(合計)の総合評価変換			評価点の合計 100 点
【AAA】150～121点、【AA】120～101点、【A】100～81点、【B】80～61点、【C】60点			総合評価 A

令和7年度 神戸市立農村環境改善センターの管理運営に対する評価票

1. 施設概要

(1)設置目的	農業者等の教養及び文化の向上並びに健康の増進を図る場を提供することにより、住民相互の交流及び地域活動の振興に資すること
(2)事業内容	(1)農業者等の農事相談、研修及び諸会合のため、施設をその利用に供すること (2)産物加工のため、施設をその利用に供すること (3)農業関係の図書及び資料を提供すること (4)その他必要と認められる業務
(3)施設内容	(1)多目的ホール (2)研修室 (3)農産物加工室 (4)農事相談室 (5)図書資料室 (6)多目的広場

2. 指定管理に関する基本情報

(1)指定管理者名	神戸市立農村環境改善センター管理運営協議会
(2)指定期間	令和7年4月1日から令和12年3月31日まで (5年間)
(3)選定方法	非公募 (非公募事由:「地域に密着した施設で地域人材を活用する場合」に該当)
(4)R7年度 市支出額(単位:円)	協定締結額(当初) 10,117,000円 (決算額) 10,896,547円

3. 令和7年度管理運営の主な実績 ※特に評価の対象とした実績を抜粋

評価項目	令和7年度の主な実績											
(1)管理実施状況												
①施設の維持管理業務	施設の設備保全・清掃・警備業務等は、期待した水準を満たしている。特に、倉庫内など利用者の目の届かない部分についても整理整頓が行き届いている。また、トラブル発生時等においては施設職員が適切に対応し、市に速やかに状況報告を行った。											
②施設の運営業務	施設の貸館業務は、地域住民のほか、区外・市外の方も含め、幅広く利用いただいた。											
③自主事業等	例年実施しているバレーボール大会に加えてポッチャ体験会を開催し、幅広い年齢層の新規利用につながった。											
(2)利用状況												
①施設の利用者数	▼ 入館者数（算出方法：利用申込書に記載された利用人数の総数）											
	目標	過去3年平均 17,803人	実績	19,645人	達成	要因	多目的ホール改修の際にバドミントンコート数を増加したことにより1枠あたりの利用者数増が可能となった。					
	▼ 貸室利用率（算出方法：多目的ホール利用日数（午前1枠・午後1枠とし、それぞれ1件利用があればカウント）÷開館日数×2枠×100）											
	目標	過去3年平均 81%	実績	87%	達成	要因	台風等の天候の影響が少なく、例年通り高い利用率であった。					
②各種事業の参加者数	▼ -											
	目標	-	実績	-		要因	-					
(3)収支状況												
①使用料収入	目標	過去3年平均 2,572,458円	実績	2,847,335円	達成	要因	多目的ホール改修の際にバドミントンコート数を増加したことにより1枠あたりの利用者数増が可能となった。					
②収支バランス	収入		10,963千円	支出		10,897千円	収支の差		66千円	目標	達成	
	指定管理料		10,117千円	人件費		5,883千円	備品費		344千円	光熱費高騰分について、市から追加支出を行ったが、その他の経費については支出を最小限に抑え、収支のバランスが維持できている。		
	電気代高騰対策		846千円	警備費			消耗品費		882千円			
	内訳			内訳	清掃費			通信費				169千円
					設備費		540千円	その他				464千円
					修繕費		241千円					
					光熱水費		2,374千円					

(4)満足度調査の結果等					
①調査概要	調査期間: 令和7年6月3日～6月11日(計9日間)				
	調査方法: ロビーにて配付・回収				
	回答者数: 100人				
	設問数: 8問				
②結果(満足度)	主な質問項目: 施設・設備、職員に対する満足度				
	▼ 施設利用の満足度 (算出方法:「満足」「やや満足」と回答した人の割合)				
	目標	過去3年平均 87%	実績	88%	達成 要因
	過去3年間においても、8割以上の方が満足感を持っており、来館者に快く感じていただけるように運営されていると判断した。 (参考) 令和6年度 84%				
③主な意見・苦情、対応	▼ 職員対応の満足度 (算出方法:「満足」「やや満足」と回答した人の割合)				
	目標	過去3年平均 85%	実績	88%	達成 要因
	過去3年間においても80%以上を維持しており、職員の対応は親切丁寧であると判断した。 (参考) 令和6年度 86%				
	特段なし				

4. 項目別評価

評価項目	5段階評価	評価の理由
(1)管理実施状況	提案をやや上回る	仕様で定めていない事項を自主的に実施し、施設の設置目的に合致する大きな効果があったため。
(2)利用状況	ほぼ提案どおり	提案値等を達成したため(1倍以上1.2倍未満)
(3)収支状況	ほぼ提案どおり	仕様で定めた事項を適切に履行し、サービスの質的にも期待した水準であったため。
(4)満足度調査の結果等	ほぼ提案どおり	提案値等を達成したため(1倍以上1.2倍未満)

5. 総合評価

評価項目	(A)配点	(B)項目別評価の係数換算	評価点(A×B)
(1)管理実施状況	40 点	1.2 (提案をやや上回る)	48
(2)利用状況	40 点	1.0 (ほぼ提案どおり)	40
(3)収支状況	10 点	1.0 (ほぼ提案どおり)	10
(4)満足度調査の結果等	10 点	1.0 (ほぼ提案どおり)	10
※評価点(合計)の総合評価変換 【AAA】150～121点, 【AA】120～101点, 【A】100～81点, 【B】80～61点, 【C】60点			評価点の合計 108 点
			総合評価 AA

令和7年度 神戸市産業振興センターの管理運営に対する評価票

1. 施設概要

(1)設置目的	市内における中小企業の基盤強化及び振興を図り、もって市内の産業の発展に寄与するため
(2)事業内容	(1) 講演会、催物等の開催のために施設を利用させること。 (2) 諸会合又は研修のために施設を利用させること。 (3) その他、その目的を達成するために必要な事業
(3)施設内容	(1) ホール (2) 会議室 (3) レセプションルーム (4) ロビーその他の便益施設

2. 指定管理に関する基本情報

(1)指定管理者名	公益財団法人 こうべ産業・就労支援財団
(2)指定期間	令和3年4月1日から令和8年3月31日まで (5年間)
(3)選定方法	公募 (応募団体数: 1)
(4)R7年度 市支出額(単位:円)	協定締結額(当初) 165,972,000円 (決算額) 169,546,240円

3. 令和7年度管理運営の主な実績 ※特に評価の対象とした実績を抜粋

評価項目		令和7年度の主な実績										
(1)管理実施状況												
①施設の維持管理業務		施設の設備保全、清掃、警備業務等は適切に行っているほか、機器故障時等においても、施設職員が適切に対応し、市へ速やかに状況報告を実施するなど期待した水準どおりに履行できている。										
②施設の運営業務		貸館の受付業務については、期待した水準を維持している。また、直前割引サービスおよび託児利用時の会議室無料サービスについては、前年度に引き続きホームページやチラシ等で、サービスの認知度の向上を図り施設の稼働率向上に努めた。										
③自主事業等		前年度に引き続きレストランのサービス券を貸館利用者に配布するなど、レストランの周知強化を実施し、利便性と施設の魅力向上に努めた。										
(2)利用状況												
①施設の利用者数		▼ 入館者数（算出方法:利用申込書に記載された利用人数の総数）										
		目標	-	実績	201,203人	要因	※昨年度186,093人					
		▼ 貸室利用率（算出方法:利用率→利用日数(1日のうち1件利用があれば1カウント)÷貸館営業日数×100） ※施設としての実績は各部屋の利用率の平均値とする。										
		目標	68.0%	実績	71.8%	達成 要因	各種サービスの向上に努め、今期の指定管理期間内において最大の利用率となった。					
②各種事業の参加者数		▼ 会議室貸出事業（概要: 諸会合又は研修のために施設を供用）										
		目標	77.0%	実績	81.7%	達成 要因	会議室の利用環境の改善や広報活動の強化等により、利用率の向上に努めたため。					
		▼ ホール貸出事業（概要:講演会、催物等の開催のために施設を供用）										
		目標	69.0%	実績	73.9%	達成 要因	直前予約の割引サービスや託児利用者への会議室使用料免除の施策などを継続して実施するなど利用率の向上に努めたため。					
		▼ レセプションルーム貸出事業（概要:講演会、催物等の開催のために施設を供用）										
		目標	58.0%	実績	59.8%	達成 要因	ケータリングなど自主事業(レストラン)との連携を図り、サービス向上に努めたため。					
(3)収支状況												
①使用料収入		目標	49,000千円	実績	52,085千円	達成 要因	会議室等の利用実績の向上により目標値を上回った。					
②収支バランス		収入		169,965千円	支出		173,917千円	収支の差	-3,952千円	目標	未達成	
		指定管理料		169,546千円	人件費		27,332千円	害虫駆除費	204千円	貸室利用率の向上によるインセンティブ収入の確保など、収入増加に向けた各種取組を進めたものの、人件費の高騰や合併に伴う事務費の増加等の影響により、収支はマイナスとなった。		
		利用料金			警備費		26,968千円	植栽管理費	92千円			
		その他		419千円	清掃費		17,774千円	事務費	13,030千円			
		内訳		内訳		設備費		22,448千円	その他			1,196千円
						修繕費		5,000千円	中小企業振興経費			883千円
						光熱水費		58,990千円				

(4)満足度調査の結果等					
①調査概要	調査期間：1回目：令和7年10月27日～12月28日（計2か月間）、2回目：令和8年1月26日～3月31日（計2か月間） 調査方法：9階サービスステーションにて手渡しで配布および回収。※インターネット回答可 回答者数：141人（前期：71人、後期：70人）※回答率70.5% 設問数：14 主な質問項目：利用料金、設備、職員対応等の満足度				
②結果（満足度）	▼ 設備（空調、トイレ等）の満足度（算出方法：「大変良い」・「良い」と回答した人の割合）				
	目標	過去3年平均 78.1%	実績	77.3%	未達成 要因 空調の性能に関する意見が寄せられており、空調設備の老朽化等が満足度を下げる要因になっていると推察される。 空調設備については令和9年度以降に関連設備の更新を予定している。 (参考)令和6年度：80.0%)
	▼ 職員対応の満足度（算出方法：「大変良い」・「良い」と回答した人の割合）				
	目標	過去3年平均 96.5%	実績	97.9%	達成 要因 職員の接遇を評価する回答もあり、高い満足度を維持しているものと推察される。 (参考)令和6年度：99.0%
	▼ 施設の清掃状況、清潔感の満足度（算出方法：「大変良い」・「良い」と回答した人の割合）				
	目標	過去3年平均 92.8%	実績	93.0%	達成 要因 清掃業務等を期待する水準どおり適切に履行していると推察される。 (参考)令和6年度：92.0%
	▼ 貸出備品の満足度（算出方法：「大変良い」・「良い」と回答した人の割合）				
	目標	過去3年平均 87.3%	実績	88.0%	達成 要因 例年程度の満足度を維持しているが、会議室のモニター類の仕様に関する意見もあり、引き続き貸出備品の充実と必要な更新を進める必要があると推察される。 (参考)令和6年度：91.0%
	▼ 総合的な満足度（算出方法：「大変良い」・「良い」と回答した人の割合）				
	目標	過去3年平均 93.7%	実績	96.5%	達成 要因 高い満足度を維持しており、利用者が求めるサービスの提供が行えているものと推察される。 (参考)令和6年度：95.0%
③主な意見・苦情、対応	・親切丁寧なスタッフの対応を評価する声が複数あった。 ・空調性能に関する意見が寄せられている。空調機器については関連設備の更新等を予定しており、快適な室内環境づくりに対応している。				

4. 項目別評価

評価項目	5段階評価	評価の理由
(1)管理実施状況	ほぼ提案どおり	仕様で定めた事項を適切に履行し、サービスの質的にも期待した水準であったため。
(2)利用状況	ほぼ提案どおり	仕様で定めた事項を適切に履行し、サービスの質的にも期待した水準であったため。
(3)収支状況	提案をやや下回る	提案値等を達成できなかったため（0.8倍以上1倍未満）。
(4)満足度調査の結果等	ほぼ提案どおり	仕様で定めた事項を適切に履行し、サービスの質的にも期待した水準であったため。

5. 総合評価

評価項目	(A)配点	(B)項目別評価の係数換算	評価点 (A×B)
(1)管理実施状況	45 点	1.0 (ほぼ提案どおり)	45
(2)利用状況	25 点	1.0 (ほぼ提案どおり)	25
(3)収支状況	20 点	0.8 (提案をやや下回る)	16
(4)満足度調査の結果等	10 点	1.0 (ほぼ提案どおり)	10
※評価点(合計)の総合評価変換			評価点の合計
【AAA】150～121点、【AA】120～101点、【A】100～81点、【B】80～61点、【C】60点			96 点
			総合評価
			A

令和7年度 神戸市立六甲山牧場の管理運営に対する評価票

1. 施設概要

(1)設置目的	人間と動物と自然の触れ合いの場をつくることによって、市民の教養とレクリエーションに資す
(2)事業内容	乳牛、馬、緬羊、山羊等の飼育管理、放牧及び展示 牧野、樹林等施設の管理及び環境整備 牧場の施設の維持管理等
(3)施設内容	全体面積125.8haうち一般開放24.4ha。レストハウス、チーズ館、体験学習館、緬羊舎、牛舎、駐車場、牧野等。

2. 指定管理に関する基本情報

(1)指定管理者名	六甲山牧場運営共同事業体
(2)指定期間	令和5年4月1日から令和10年3月31日まで（5年間）
(3)選定方法	公募（応募団体数： 1 ）
(4)R7年度 市支出額(単位:円)	協定締結額(当初) 13,823千円（決算額）14,064千円（高校生無償化補填241千円含む）

3. 令和7年度管理運営の主な実績 ※特に評価の対象とした実績を抜粋

評価項目	令和7年度の主な実績																																																																			
(1)管理実施状況																																																																				
①施設の維持管理業務	牧場内施設の運転・監視及び日常点検・保守や、牧場内過繁茂部の草刈、牧場内の枯木、倒木を適宜撤去した。																																																																			
②施設の運営業務	但馬牛を含む動物の飼育管理、放牧及び展示を行った。 但馬牛について学ぶ「和牛教室」の開催や、牛舎にライブカメラを設置し、場内2ヶ所のモニターからリアルタイムでの配信もしている。和牛舎見学通路を設置し、防疫対策を施したうえで、海外の方に但馬牛の見学と肉牛のPRも行った。 ほかにも、本来高いところを好むヤギの行動を見ることができるよう、ヤギの渡り橋を適切に管理したり、体験型エンターテインメント牧場を目指し、ダイナソーフォッシルパークのオープンやシブレースなどのイベントを開催したりすることで、入場者やリピーターがより楽しめる工夫をしている。																																																																			
③自主事業等	売店やレストラン等の管理運営や、牧場内生産乳製品の製造販売に関する業務を行った。 施設内で手作りされたチーズである「六甲山牧場グラン(セミハード)」が2025ナチュラルチーズコンテストにて準グランプリを受賞した。 そのほか、売店などでオリジナル商品を販売し、特にソフトクリームに顔や角を付けた「牛さんソフト」はSNSでも話題になっている。																																																																			
(2)利用状況																																																																				
①施設の利用者数	▼ 入館者数（算出方法:評価対象期間中の六甲山牧場に入場した人の総数） <table><tr><td>目標</td><td>313,261人</td><td>実績</td><td>324,265人</td><td>要因</td><td colspan="5">体験型のイベントを増やしたことが、新規入場者獲得やリピーターの増加につながったと考えられる。</td></tr></table>										目標	313,261人	実績	324,265人	要因	体験型のイベントを増やしたことが、新規入場者獲得やリピーターの増加につながったと考えられる。																																																				
目標	313,261人	実績	324,265人	要因	体験型のイベントを増やしたことが、新規入場者獲得やリピーターの増加につながったと考えられる。																																																															
②各種事業の参加者数	▼ 食体験教室事業（概要:バター作りやチーズ作りなどの畜産物加工体験を実施） <table><tr><td>目標</td><td>19,396人</td><td>実績</td><td>18,246人</td><td>要因</td><td colspan="5">ほぼ目標どおり</td></tr></table> ▼ ポニー乗馬体験事業（概要:ポニー、在来馬を用いた引馬による乗馬体験） <table><tr><td>目標</td><td>21,411人</td><td>実績</td><td>21,206人</td><td>要因</td><td colspan="5">ほぼ目標どおり</td></tr></table> ▼ 子牛ミルクやり体験事業（概要:1回300円で子牛のミルクやり体験を実施） <table><tr><td>目標</td><td>7,631人</td><td>実績</td><td>7,528人</td><td>要因</td><td colspan="5">ほぼ目標どおり</td></tr></table>										目標	19,396人	実績	18,246人	要因	ほぼ目標どおり					目標	21,411人	実績	21,206人	要因	ほぼ目標どおり					目標	7,631人	実績	7,528人	要因	ほぼ目標どおり																																
目標	19,396人	実績	18,246人	要因	ほぼ目標どおり																																																															
目標	21,411人	実績	21,206人	要因	ほぼ目標どおり																																																															
目標	7,631人	実績	7,528人	要因	ほぼ目標どおり																																																															
(3)収支状況																																																																				
①利用料金収入	目標	199,129千円	実績	215,360千円	要因	来場者数が増え、各利用料金収入が増加したことによる																																																														
②収支バランス	<table><tr><td colspan="2">収入</td><td>240,251千円</td><td colspan="2">支出</td><td>253,854千円</td><td colspan="2">収支の差</td><td>-13,603千円</td><td>目標</td><td>未達成</td></tr><tr><td rowspan="5">内訳</td><td>指定管理料</td><td>13,823千円</td><td rowspan="5">内訳</td><td>人件費</td><td>83,777千円</td><td colspan="2">光熱水費</td><td>8,732千円</td><td colspan="2" rowspan="5">入場者増により利用料金収入は増加したが、それに伴う要員の増加(警備、送迎バス等)、人件費の増加等で目標は未達成となった。</td></tr><tr><td>利用料金</td><td>215,360千円</td><td>委託料</td><td>64,321千円</td><td colspan="2">賃借料</td><td>4,687千円</td></tr><tr><td>畜産物収入</td><td>10,827千円</td><td>修繕費</td><td>16,766千円</td><td colspan="2">その他</td><td>22,383千円</td></tr><tr><td>高校生無償化補填</td><td>241千円</td><td>飼料・稲藁購入費</td><td>22,391千円</td><td colspan="2"></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>管理費</td><td>18,282千円</td><td colspan="2"></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>消耗品費</td><td>12,515千円</td><td colspan="2"></td><td></td></tr></table>										収入		240,251千円	支出		253,854千円	収支の差		-13,603千円	目標	未達成	内訳	指定管理料	13,823千円	内訳	人件費	83,777千円	光熱水費		8,732千円	入場者増により利用料金収入は増加したが、それに伴う要員の増加(警備、送迎バス等)、人件費の増加等で目標は未達成となった。		利用料金	215,360千円	委託料	64,321千円	賃借料		4,687千円	畜産物収入	10,827千円	修繕費	16,766千円	その他		22,383千円	高校生無償化補填	241千円	飼料・稲藁購入費	22,391千円						管理費	18,282千円							消耗品費	12,515千円			
収入		240,251千円	支出		253,854千円	収支の差		-13,603千円	目標	未達成																																																										
内訳	指定管理料	13,823千円	内訳	人件費	83,777千円	光熱水費		8,732千円	入場者増により利用料金収入は増加したが、それに伴う要員の増加(警備、送迎バス等)、人件費の増加等で目標は未達成となった。																																																											
	利用料金	215,360千円		委託料	64,321千円	賃借料		4,687千円																																																												
	畜産物収入	10,827千円		修繕費	16,766千円	その他		22,383千円																																																												
	高校生無償化補填	241千円		飼料・稲藁購入費	22,391千円																																																															
				管理費	18,282千円																																																															
			消耗品費	12,515千円																																																																

(4)満足度調査の結果等				
①調査概要	調査期間:令和7年4月1日～11月30日(計8か月間)			
	調査方法:料金所でお客様アンケート台を設置。			
	回答者数:5,336			
	設問数:7問			
	主な質問項目:来場のきっかけ、牧場内でよかったもの、入場料金について、各種満足度について			
②結果(満足度)	▼ 動物に関する満足度 (算出方法:大変満足・おおむね満足と回答した人の割合)			
	目標	95%	実績	99%
	要因		昨年度と変わらず高い満足度を得た。(参考)令和6年度 98%	
	▼ スタッフに関する満足度 (算出方法:大変満足・おおむね満足と回答した人の割合)			
	目標	95%	実績	99%
	要因		スタッフに関しても高い満足度を維持している。(参考)令和6年度 96%	
	▼ 設備に関する満足度 (算出方法:大変満足・おおむね満足と回答した人の割合)			
	目標	95%	実績	96%
	要因		設備の修繕により、高い満足度を得た。(参考)令和6年度 92%	
	③主な意見・苦情、対応	(意見)シーブレースや化石堀り体験など、体験型イベントに關しての満足度が高かった。		
(苦情)トイレの美装化に關する要望が多かった。				

4. 項目別評価

評価項目	5段階評価	評価の理由
(1)管理実施状況	提案をやや上回る	仕様で定めた事項を適切に履行し、提案をやや上回る効果があったため。
(2)利用状況	提案をやや上回る	提案値等を達成したため(1倍以上1.2倍未満)
(3)収支状況	提案をやや下回る	提案値等を達成できなかったため(0.8倍以上1倍未満)。
(4)満足度調査の結果等	提案をやや上回る	仕様で定めた事項を適切に履行し、提案をやや上回る効果があったため。

5. 総合評価

評価項目	(A)配点	(B)項目別評価の係数換算	評価点(A×B)
(1)管理実施状況	30 点	1.2 (提案をやや上回る)	36
(2)利用状況	30 点	1.2 (提案をやや上回る)	36
(3)収支状況	25 点	0.8 (提案をやや下回る)	20
(4)満足度調査の結果等	15 点	1.2 (提案をやや上回る)	18
※評価点(合計)の総合評価変換			評価点の合計
【AAA】150～121点, 【AA】120～101点, 【A】100～81点, 【B】80～61点, 【C】60点			110 点
			総合評価
			AA

1. 施設概要

(1)設置目的	学童等に自然に恵まれた環境の中で農業の体験実習及び農業の知識の修得の場を提供するとともに、地域の農業の振興を図る
(2)事業内容	・学童等にわら細工、竹細工等の工芸実習その他の農業の体験実習の場を提供すること。 ・地域の農業者の研修等のために施設を利用させること。 ・地域の老人会その他の団体に施設を利用させること。
(3)施設内容	土間教室、板の間教室、和室(集会室)

(1)指定管理者名	高和自然環境活用センター管理会
(2)指定期間	令和7年4月1日から令和12年3月31日まで（5年間）
(3)選定方法	非公募（非公募事由：地域に密着した施設で地域人材を活用する場合）
(4)R7年度 市支出額(単位：円)	協定締結額(当初) 622,000円（決算額）当初額と同額

評価項目		令和7年度の主な実績								
(1)管理実施状況										
①施設の維持管理業務	施設の清掃等の維持管理業務は、期待した水準を満たしている。危険な井戸の埋め戻し工事など、施設の安全性及び利便性向上のため、適宜投資した。									
②施設の運營業務	施設の貸館業務は、地域住民のほか、区外・市外の方も含め、幅広く利用いただいた。									
③自主事業等	地域の方やリピーターによる安定した利用を維持している。									
(2)利用状況										
①施設の利用者数	▼ 入館者数（算出方法：評価対象期間中に、施設を利用した人の総数）									
	目標	過去2年平均 2,874人	実績	2,936人	要因	概ね例年通りの実績であり適切に運営していることが推察される。 (参考)令和6年度 2,928人				
	▼ 貸室利用率（算出方法：評価対象期間中の利用団体数÷開館日数×100）※1日1団体の利用									
	目標	過去2年平均 44%	実績	43.9%	要因	概ね例年通りの実績であり適切に運営していることが推察される。 (参考)令和6年度 45.2%				
②各種事業の参加者数	▼ 農業体験事業（概要：評価対象期間中の農業体験者数）									
	目標	過去2年平均 410人	実績	513人	要因	過去2年を上回る実績であり適切に運営していることが推察される。 (参考)令和6年度 420人				
	▼ 工芸実習事業（概要：評価対象期間中の工芸実習の体験者数）									
	目標	過去2年平均 158人	実績	252人	要因	過去2年を上回る実績であり適切に運営していることが推察される。 (参考)令和6年度 182人				
(3)収支状況										
②収支バランス	収入		689 千円	支出		689 千円	収支の差	0 千円	目標	達成
	内訳	指定管理料	622 千円	内訳	人件費	320 千円	消耗品費	49 千円		支出を最小限に抑え、収支のバランスを維持できていることから、目標達成とする。
		繰入金等	67 千円		清掃費	22 千円				
					光熱水費	126 千円				
					通信費	106 千円				
					修繕費	42 千円				
			備品費	24 千円						
(4)満足度調査の結果等										
①調査概要	調査期間：令和7年4月1日～令和8年3月27日（計134日間） 調査方法：紙（受付時にアンケート用紙を手交・施設利用者（団体）に回答を案内） 回答者数：116団体 設問数：計10問（回答選択式及び自由記載） 主な質問項目：利用者属性、利用回数、利用の契機、利用目的、貸室利用の満足度、良い点・改善									
②結果（満足度）	▼ 貸室利用の満足度（算出方法：「利用の満足度は」という質問に「満足」「やや満足」と回答）									
	目標	過去3年平均 99.5%	実績	98%	要因	1日1組の利用であることや、管理者の一定水準での施設管理・応対接遇ができていると推察される。（参考）令和6年度 99%				
③主な意見・苦情、対応	利用者からの苦情はなく、自然の中で施設を自由に使用できる点や、設備・備品等が整っている点などが評価されている。									

4. 項目別評価

評価項目	5段階評価	評価の理由
(1)管理実施状況	ほぼ提案どおり	仕様で定めた事項を適切に履行し、サービスの質的にも期待した水準であったため。
(2)利用状況	ほぼ提案どおり	仕様で定めた事項を適切に履行し、サービスの質的にも期待した水準であったため。
(3)収支状況	ほぼ提案どおり	仕様で定めた事項を適切に履行し、サービスの質的にも期待した水準であったため。
(4)満足度調査の結果等	提案をやや上回る	仕様で定めた事項を適切に履行し、サービスの質的にも期待した水準であったため。

5. 総合評価

評価項目	(A)配点	(B)項目別評価の係数換算	評価点 (A×B)
(1)管理実施状況	40 点	1.0 (ほぼ提案どおり)	40
(2)利用状況	40 点	1.0 (ほぼ提案どおり)	40
(3)収支状況	10 点	1.0 (ほぼ提案どおり)	10
(4)満足度調査の結果等	10 点	1.2 (提案をやや上回る)	12
※評価点(合計)の総合評価変換 【AAA】150～121点, 【AA】120～101点, 【A】100～81点, 【B】80～61点, 【C】60点			評価点の合計 102 点
			総合評価 AA

令和7年度 神戸市立水産体験学習館の管理運営に対する評価票

1. 施設概要

(1)設置目的	漁業に関する体験学習を通じ、漁業者と市民との交流を図ることにより、相互理解を深め、漁業の振興に資するとともに、市民文化の向上、健康の増進及び憩いと安らぎの場の提供を図る
(2)事業内容	(1) 漁業に関する講習及び体験学習を行うこと。 (2) 漁業に関する資料を収集し、及び展示すること。 (3) 上記に掲げるもののほか、第1条の目的を達成するために必要な事業
(3)施設内容	(1) 研修室 (2) 展示学習室 (3) 臨海休養広場 (4) ロビーその他の便施設

2. 指定管理に関する基本情報

(1)指定管理者名	水産体験学習館運営共同事業体 代表者 一般財団法人神戸農政公社
(2)指定期間	令和7年4月1日から令和12年3月31日 (5年間)
(3)選定方法	公募 (非公募事由:)
(4)R7年度 市支出額(単位:円)	協定締結額(当初) 12,100,000円 (決算額)当初額と同額

3. 令和7年度管理運営の主な実績 ※特に評価の対象とした実績を抜粋

評価項目	令和7年度の主な実績				
(1)管理実施状況					
①施設の維持管理業務	ア 施設の維持管理業務 消防・電気・建築設備等の保守点検、枝条架装置の保守点検、機械警備・照明設備・展示水槽の点検整備等 イ 清掃業務 日常清掃, 定期清掃				
②施設の運営業務	ア 学習館の管理運営業務 イ 指定管理料を原資に行う水産体験学習等に関する業務(稚魚放流、豊かな海づくりに関する情報発信等)				
③自主事業等	ア 体験学習(塩づくり・食づくり体験) イ オーシャンキッズラボ(海の生き物や海洋環境について楽しく学べる体験型プログラム。ダンスや貝殻探し、描いた絵が海の中を泳ぐ体験等) ウ 館内ショップ販売・自動販売機等				
(2)利用状況					
①施設の利用者数	▼ 入館者数 (算出方法:実際の利用者数の集計)				
	目標	100,000人	実績	90,026人	未達成 要因 ホームページの開設や一部サービス提供の開始が遅れたことで施設の周知が十分に進まず、来館者数が目標を下回ったものと考えられる。
②各種事業の参加者数	▼ 【指定管理業務】体験学習(稚魚放流体験) (算出方法:実施計画書及び実績報告書より)				
	目標	350人	実績	813人	達成 要因 マリンピア神戸のイベントや栽培漁業センターの事業と連携して稚魚放流体験を実施したことで来場者が集中的に参加する機会が生まれたことが要因と考えられる。
	▼ 【自主事業】体験学習(塩づくり体験・食づくり体験) (算出方法:実施計画書及び実績報告書より)				
	目標	2,382人	実績	997人	未達成 要因 敷地の最奥部に立地していることから、初めて訪れる来訪者にとって施設の位置が分かりにくく、施設の存在や目的、体験学習機能等について、市民への周知が必ずしも行き届いていないこと等が考えられる。
	▼ 【自主事業】オーシャンキッズラボ (算出方法:実施計画書及び実績報告書より)				
	目標	2,380人	実績	282人	未達成 要因 指定管理者の変更に伴い、現在、運営内容や広報手法について試行錯誤の段階にあり、その効果が十分に行き渡っていないこと等が考えられる。
	▼ 【自主事業】ワークショップ (算出方法:実施計画書及び実績報告書より)				
	目標	1,000人	実績	608人	未達成 要因 敷地の最奥部に立地していることから、初めて訪れる来訪者にとって施設の位置が分かりにくく、施設の存在や目的、体験学習機能等について、市民への周知が必ずしも行き届いていないこと等が考えられる。

(3)収支状況													
①使用料収入	目標	—	実績	—	未達成	要因	—						
②収支バランス	収入		12,100千円		支出		12,551千円		収支の差	-451千円	目標	未達成	
	内訳	指定管理料		12,100千円		人件費		4,801千円		備品費	136千円		光熱水費の高騰に加え、設備の老朽化に伴う修繕対応が発生したこと等により、収入を上回る支出となった。
		その他				警備費				消耗品費	643千円		
						清掃費				通信費	120千円		
						設備費				広告宣伝費	220千円		
						修繕費		1,004千円		委託費	892千円		
					光熱水費		2,995千円 <th>その他</th> <td colspan="2">1,740千円</td>		その他	1,740千円			
(4)満足度調査の結果等													
①調査概要	調査期間: 令和7年4月1日～令和8年3月31日(計12か月間) 調査方法: 来館者へのアンケート調査 回答者数: 822件(塩づくり体験159件、食体験78件、稚魚放流体験585件) 設問数: 5問(うち満足度に関する項目は2問) 主な質問項目: 体験内容、スタッフの接客に関する満足度												
②結果(満足度)	▼ 体験内容における「満足」・「やや満足」の回答比率 (算出方法: アンケート集計)												
	目標	70%		実績	97%		達成	要因	一部参加者から、受付方法や案内・説明の聞き取りにくさに関する改善意見が寄せられたが、海の生き物の学ぶ良い機会となったなどの意見もあり、高い満足度となった。				
	▼ スタッフの接客における「満足」・「やや満足」の回答比率 (算出方法: アンケート集計)												
	目標	70%		実績	100%		達成	要因	対応が丁寧で、説明がわかりやすいことが評価されている。				
③主な意見・苦情、対応	・十分な量の稚魚がいたのですが、参加者はわからないため、整理券があると安心でした。 →毎回、あらかじめ充分な量の稚魚がいる旨を口頭で伝えているが、参加者が多い場合は整理券を用意することを検討する。 ・スタッフの声がほとんど聞こえない。拡声器など必要かと。 →拡声器を導入した。												

4. 項目別評価

評価項目	5段階評価	評価の理由
(1)管理実施状況	提案をやや下回る	仕様で定めた事項は履行しているが、サービスの質的に期待した水準を満たさなかったため。
(2)利用状況	提案をやや下回る	仕様で定めた事項は履行しているが、サービスの質的に期待した水準を満たさなかったため。
(3)収支状況	提案をやや下回る	提案値等を達成できなかったため(0.8倍以上1倍未満)。
(4)満足度調査の結果等	提案をやや上回る	仕様で定めた事項を適切に履行し、提案をやや上回る効果があったため。

5. 総合評価

評価項目	(A)配点	(B)項目別評価の係数換算	評価点 (A×B)
(1)管理実施状況	40 点	0.8 (提案をやや下回る)	32
(2)利用状況	40 点	0.8 (提案をやや下回る)	32
(3)収支状況	10 点	0.8 (提案をやや下回る)	8
(4)満足度調査の結果等	10 点	1.2 (提案をやや上回る)	12
評価点の合計			84 点
総合評価			A

※評価点(合計)の総合評価変換
【AAA】150～121点, 【AA】120～101点, 【A】100～81点, 【B】80～61点, 【C】60点

令和7年度 神戸市立水産会館の管理運営に対する評価票

1. 施設概要

(1)設置目的	本市における漁業の振興を図るとともに、漁業者等の教養及び文化の向上並びに福祉の増進を図る。
(2)事業内容	・会館の利用及びその制限に関する業務 ・会館の使用料の徴収、減額、免除及び返還に関する業務 ・会館及び設備の維持管理に関する業務 ・設置目的を達成するための事業の実施に関する業務
(3)施設内容	集会ホール330㎡、大会議室140㎡、小会議室33㎡、和室33㎡、料理教室41㎡(昭和56年度 開設)

2. 指定管理に関する基本情報

(1)指定管理者名	神戸市漁業協同組合
(2)指定期間	令和5年4月1日から令和10年3月31日（5年間）
(3)選定方法	非公募（非公募事由:当該施設は神戸市漁業協同組合の本部に隣接し、建物やライフラインを共用するなど一体的な構造となっているため、従来から管理運営を担っている現指定管理者が最も効率的に運営できると判断したため）
(4)R7年度 市支出額(単位:円)	協定締結額(当初) 6,600,000円（決算額)当初額と同額

3. 令和7年度管理運営の主な実績 ※特に評価の対象とした実績を抜粋

評価項目			令和7年度の主な実績										
(1)管理実施状況													
①施設の維持管理業務			維持管理(開館・閉館・清掃)、備品・付属設備の管理(冷暖房設備、自家発電機、電気、水道、ガス設備その他室内備品)、保守点検(電気設備、冷暖房設備、消防設備、自家発電機)、光熱水費の支払い、小修繕										
②施設の運営業務			条例に基づく使用料の徴収、使用予約受付・許可業務、使用料の減免、使用料の市への納付等										
③自主事業等													
(2)利用状況													
①施設の利用者数			▼ 入館者数 (算出方法:実際の利用者数の集計)										
			目標	過去3年平均 8,762人	実績	6,270人	未達成	要因	利用者の高齢化に伴い、利用団体の活動縮小が生じていることが要因の一つと考えられる。(参考)令和6年度 7,504人				
②各種事業の参加者数			▼ 貸室利用率 (算出方法:評価対象期間中の〔各室利用回数合計〕÷〔各室の利用可能枠数〕×100)										
			目標	過去3年平均 15.0%	実績	12.1 %	未達成	要因	同上(参考)令和6年度 13.4%				
			▼ 貸室事業のうち漁業者等の利用割合 (算出方法:評価対象期間中の〔漁業者等の利用人数〕÷〔総利用人数〕×100)										
			目標	過去3年平均 4.3%	実績	19.5%	達成	要因	貸室の認知度向上や利用手続きの浸透により、漁業者の利用割合の増加につながったと考えられる。(参考)令和6年度 4.6%				
(3)収支状況													
①使用料収入			目標	1,267千円	実績	938千円	未達成	要因	利用者の高齢化に伴い、利用団体の活動縮小が生じていること、また猛暑の影響により外出を控える人が増えたことが、利用者減少の要因として考えられる。(目標値:R7年度予算額(R5年度実績額) 参考:R6年度実績:1,131千円)				
②収支バランス			収入		6,600千円	支出		6,727千円	収支の差	-127 千円	目標	未達成	
内訳			指定管理料		6,600千円	人件費		2,009千円	備品費		光熱水費の高騰に加え、設備の老朽化に伴う修繕対応が発生したこと等により、収入を上回る支出となった。		
			その他			警備費			消耗品費				25 千円
						清掃費		918 千円	通信費				34 千円
						設備費			保守点検費				302 千円
						修繕費		817 千円	その他				
						光熱水費		2,622千円					

(4)満足度調査の結果等				
①調査概要	調査期間: 令和7年4月1日～令和8年3月31日(計12か月間) 調査方法: 来館団体へのアンケート調査 回答者数: 206団体 設問数: 5問(うち満足度に関する項目は2問) 主な質問項目: 施設・設備、スタッフの接客に関する満足度			
②結果(満足度)	▼ 施設・設備における「満足」・「やや満足」の回答比率 (算出方法: アンケート集計)			
	目標	過去3年平均 91.4%	実績	89% 未達成 要因 概ね高い評価を得ているものの、一部利用者から設備面に関する意見が寄せられたことにより、目標値をわずかに下回った。 (参考) 令和6年度 98.0%
	▼ スタッフの接客における「満足」・「やや満足」の回答比率 (算出方法: アンケート集計)			
	目標	過去3年平均 92.7%	実績	99% 達成 要因 対応が早く、丁寧なことが評価されている。 (参考) 令和6年度 98.0%
③主な意見・苦情、対応	・音響設備にやや不満 →設備の老朽化によるものであるが、既存設備の適切な維持管理に努めるとともに、利用者の意見を踏まえながら、今後の設備更新の必要性について検討していく。 ・トイレに石鹸が設置されていない。女性用トイレのトイレットペーパーがすべてなくなった。 →清掃時の補充に加え、点検・確認を強化し、消耗品の不足防止に努める。			

4. 項目別評価

評価項目	5段階評価	評価の理由
(1)管理実施状況	ほぼ提案どおり	仕様で定めた事項を適切に履行し、サービスの質的にも期待した水準であったため。
(2)利用状況	提案をやや下回る	仕様で定めた事項は履行しているが、サービスの質的に期待した水準を満たさなかったため。
(3)収支状況	提案をやや下回る	提案値等を達成できなかったため(0.8倍以上1倍未満)。
(4)満足度調査の結果等	提案をやや上回る	仕様で定めた事項を適切に履行し、提案をやや上回る効果があったため。

5. 総合評価

評価項目	(A)配点	(B)項目別評価の係数換算	評価点(A×B)
(1)管理実施状況	40 点	1.0 (ほぼ提案どおり)	40
(2)利用状況	40 点	0.8 (提案をやや下回る)	32
(3)収支状況	10 点	0.8 (提案をやや下回る)	8
(4)満足度調査の結果等	10 点	1.2 (提案をやや上回る)	12
※評価点(合計)の総合評価変換			評価点の合計 92 点
【AAA】150～121点, 【AA】120～101点, 【A】100～81点, 【B】80～61点, 【C】60点			総合評価 A

令和7年度 神戸市立須磨海づり公園の管理運営に対する評価票

1. 施設概要

(1)設置目的	市民に安全で快適な海釣りの場及び海上の憩いの場を提供することにより、市民の余暇の活用と健康の増進を図る。
(2)事業内容	市民の余暇の活用及び健康の増進のため、公園を利用させること。 海釣り技術に関する助言、指導等を行うこと。 水産資源の保護育成に関すること。 その他
(3)施設内容	須磨海づり公園(昭和51年4月開園、平成30年8月一時閉園、令和6年11月再開)・・・釣り場、駐車場 管理所その他の関連施設

2. 指定管理に関する基本情報

(1)指定管理者名	山陽電気鉄道・ハウスビルシステム共同事業体
(2)指定期間	令和6年11月1日から令和12年3月31日まで（5年5か月）
(3)選定方法	公募（応募団体数： 3 ）
(4)R7年度 市支出額(単位:円)	市支出は無し(利用料金収入等、指定管理者の収入のみで運営)

3. 令和7年度管理運営の主な実績 ※特に評価の対象とした実績を抜粋

評価項目	令和7年度の主な実績									
(1)管理実施状況										
①施設の維持管理業務	施設の保全・清掃業務、施設の修繕業務、施設の保安警備業務									
②施設の運営業務	公園の利用料金の徴収・減額・免除・返還に関する業務、公園の利用及び制限に関する業務、釣りの指導、水産資源の保護育成等に関する業務、安全対策 ①釣り指導員を釣り台に配置し、初心者等への指導に務めた。 ②兵庫県水産技術センターとも連携し、須磨海苔食害対策の一環としてチヌ釣果数のモニタリングやチラシでの啓発を行った。 ③ライフジャケットの無償貸出し									
③自主事業等	釣具レンタル・販売等、釣り大会・釣り教室の開催、利便施設(売店棟・海浜広場) ①釣具レンタル・販売等（36,810千円） ②釣り大会(14回)、釣り教室(1回) ※釣り教室はコベカツとの連携で実施 ③売店・海浜広場(54,129千円) ④自販機(844千円)									
(2)利用状況										
①施設の利用者数	▼ 入館者数（算出方法：釣り客、入園客の合計）									
	目標	50,000人	実績	64,083人	達成	要因	各種広報により目標を上回る来園があった。			
②各種事業の参加者数	▼ 陸上施設の運営事業（概要：SUMAてらすの運営）									
	目標	24,300人	実績	27,048人	達成	要因	海づり公園で見学のみされる利用者も一定数おり、SUMAてらすに取り入れたことや各種広報によりSUMAてらす利用者増加につながったことが推察される。			
(3)収支状況										
①利用料金収入	目標	52,500千円	実績	61,729千円	達成	要因	釣り客数が想定を上回り、さらに見学のみのお客様も多く来られたため、目標以上の収入となった。			
②収支バランス	収入		61,729千円	支出		49,206千円	収支の差		12,523千円	目標 達成
	内訳	指定管理料		内訳	人件費	25,210千円	備品費		利用者数が想定を上回ったことが大きく影響し収入が計画よりも増えたため。	
		利用料金	61,729千円		警備費		消耗品費	2,187千円		
		その他			清掃費		広告宣伝費	436千円		
					設備費	729千円	消費税	5,612千円		
					修繕費	805千円	市納付金	6,500千円		
					光熱水費	1,696千円	その他	6,031千円		

(4)満足度調査の結果等				
①調査概要	調査期間: 令和7年4月～令和8年3月(計12か月間) 調査方法: 来園者を対象にアンケート調査実施 回答者数: 1,164人 設問数: 10 主な質問項目: 海づり公園施設、海づりスタッフ、SUMAてらす、イベントの満足度と意見			
②結果(満足度)	▼ ①海づり公園施設の満足度 設問(1)(2) (算出方法: 5段階評価のうち「とても満足」、「ほぼ満足」と回答した割合)			
	目標	77%	実績	76% 未達成 要因 リニューアルされた施設で全体の雰囲気や清潔感に満足されている方が多い。(参考)令和6年度 77%
	▼ ②海づり売店の満足度 設問(6) (算出方法: 5段階評価のうち「とても満足」、「ほぼ満足」と回答した割合)			
	目標	49%	実績	45% 未達成 要因 釣りをするうえで必要なものが一式揃っている点が評価されている一方で品ぞろえに対する不満もある。(参考)令和6年度 49%
	▼ ③海づりスタッフの満足度 設問(3)(4)(5) (算出方法: 5段階評価のうち「とても満足」、「ほぼ満足」と回答した割合)			
	目標	64%	実績	59% 未達成 要因 釣り知識をもつスタッフを釣り台に配置して指導等行っている点が評価されている。一方で普通と感じる人が40%以上を占める。(参考)令和6年度 64%
	▼ ④SUMAてらすの満足度 設問(7)(8)(9) (算出方法: 5段階評価のうち「とても満足」、「ほぼ満足」と回答した割合)			
	目標	60%	実績	61% 達成 要因 雰囲気や清潔感に対する満足度が高い。(参考)令和6年度 60%
	▼ ⑤イベントの満足度 設問(10) (算出方法: 5段階評価のうち「とても満足」、「ほぼ満足」と回答した割合)			
	目標	54%	実績	44% 未達成 要因 参加者ニーズに沿ったイベントが実施できていない。(参考)令和6年度 54%
③主な意見・苦情、対応	・景色や雰囲気が良い、綺麗、交通アクセスが良い ・ベンチを増やしてほしい →休憩場所の確保について検討する ・SUMAテラスのフードがおいしいが、メニュー量を増やしてほしい →意見を受け止め、メニューの見直し等に努める			

4. 項目別評価

評価項目	5段階評価	評価の理由
(1)管理実施状況	ほぼ提案どおり	仕様で定めた事項を適切に履行し、サービスの質的にも期待した水準であったため。
(2)利用状況	提案をやや上回る	提案値等の実績が1.2倍以上1.5倍未満であったため。
(3)収支状況	提案を大幅に上回る	仕様で定めた事項を適切に履行し、提案を大幅に上回る効果があったため。
(4)満足度調査の結果等	提案をやや下回る	仕様で定めた事項は履行しているが、サービスの質的に期待した水準を満たさなかったため。

5. 総合評価

評価項目	(A)配点	(B)項目別評価の係数換算	評価点(A×B)
(1)管理実施状況	30 点	1.0 (ほぼ提案どおり)	30
(2)利用状況	30 点	1.2 (提案をやや上回る)	36
(3)収支状況	25 点	1.5 (提案を大幅に上回る)	37.5
(4)満足度調査の結果等	15 点	0.8 (提案をやや下回る)	12
※評価点(合計)の総合評価変換 【AAA】150～121点, 【AA】120～101点, 【A】100～81点, 【B】80～61点, 【C】60点			評価点の合計 115.5 点
			総合評価 AA

令和7年度 神戸市立平磯海づり公園の管理運営に対する評価票

1. 施設概要

(1)設置目的	市民に安全で快適な海釣りの場及び海上の憩いの場を提供することにより、市民の余暇の活用と健康の増進を図る。
(2)事業内容	市民の余暇の活用及び健康の増進のため、公園を利用させること。 海釣り技術に関する助言、指導等を行うこと。 水産資源の保護育成に関すること。 その他
(3)施設内容	平磯海づり公園(昭和59年9月開園)・・・釣り場、駐車場 管理所その他の関連施設

2. 指定管理に関する基本情報

(1)指定管理者名	(一財)神戸農政公社
(2)指定期間	令和5年4月1日から令和10年3月31日まで (5年間)
(3)選定方法	非公募 (非公募事由: ① 海洋レクリエーションと沿岸漁業振興との調和を図り、水産資源の培養を推進することを目的に、神戸市が昭和59年に供用開始した施設である。 ② 水産資源の維持・増大のため、本市海域に適した定着性のある魚介類の種苗生産・中間育成、栽培試験研究を行う神戸市立栽培漁業センターが併設されており、本施設の管理運営は、開設当初から公社に委託している。 ③ 神戸市立栽培漁業センターと連携して、平磯海づり公園入園者による稚魚の放流等の事業を展開しており、海づり公園の設置目的である水産資源の保護育成については、引き続き、栽培漁業センターとの一体的な管理運営による長期的な取組みが必要である)
(4)R7年度 市支出額(単位:円)	市支出は無し(利用料金収入等、指定管理者の収入のみで運営)

3. 令和7年度管理運営の主な実績 ※特に評価の対象とした実績を抜粋

評価項目		令和7年度の主な実績									
(1)管理実施状況											
①施設の維持管理業務		施設の保全・清掃業務、施設の修繕業務、施設の保安警備業務									
②施設の運営業務		公園の利用料金の徴収・減額・免除・返還に関する業務、公園の利用及び制限に関する業務、釣りの指導、水産資源の保護育成等に関する業務、安全対策 ①釣り指導員の配置 職員が釣台や売店で、特に初心者を中心に指導に努めた。 兵庫県釣団体協議会の会員による釣り指導(繁忙期の土日祝日:36日) ②稚魚の放流、魚礁の管理、アオリイカ産卵床の設置、海底の整備・清掃など ③避難訓練実施、ライフジャケットなどの救命具の設置、市民救命士の資格取得者の配置、AED・救急箱・インセクトボイゾンリムーバー等の設置 津波警報発令を想定した救助訓練を実施(令和7年2月20日) ライフジャケット 大人用80着 子供用120着									
③自主事業等		利便施設(売店、自販機、バーベキュー場)の運営、魚食普及のための活魚販売、海釣り人口拡大のためのイベントの実施、地域との連携 ①利便施設(売店:R7 32,080千円 前年比91.2%、自販機:R7 1,602千円 前年比前年比86.1% 活魚販売:R7 1,865千円 前年比78.5%、屋外バーベキュー場の運営:152組(920名)来園) ②釣り大会開催(26件、621人) ③釣り教室の開催(16件)									
(2)利用状況											
①施設の利用者数		▼ 入館者数 (算出方法:釣り客、入園客)									
		目標	85,000人	実績	62,209人	未達成	要因	昨年度は記録的な猛暑により、屋外活動を控える傾向がみられたため。 特に当施設は、構造上、照り返しやコンクリートの蓄熱により日中の高温化や夜間の気温低下が起こりにくい環境であることから、その影響がより大きかったものと考えられる。			
②各種事業の参加者数		▼ 自主事業 (概要: バーベキュー場運営)									
		目標	1,436人 (276組)	実績	920人 (152組)	未達成	要因	昨年度は記録的な猛暑により、屋外活動を控える傾向がみられたため。			
(3)収支状況											
①利用料金収入		目標	85,756千円	実績	65,149千円	未達成	要因	想定よりも利用者数を大きく落としたため、目標の収入に届かなかった。			
②収支バランス		収入		65,149千円	支出		73,778千円	収支の差	-8,629千円	目標	未達成
		利用料金		65,149千円	人件費		42,522千円	広告宣伝費	1,851千円	経費削減に努めたものの、猛暑により利用者数が想定より少なくなったことが大きく影響し収入が計画よりも少なくなったため。	
		その他			警備費		474千円	消耗品費	1,169千円		
					清掃費		2,702千円	通信費	596千円		
					施設保守管理費		23千円	消費税	1,850千円		
					修繕費		3,482千円	市納付金	5,023千円		
					光熱水費		1,897千円	その他	12,189千円		

(4)満足度調査の結果等					
①調査概要	調査期間: 令和7年4月1日～令和8年3月31日(計12か月間)				
	調査方法: ホームページ、イベント時のアンケート調査				
	回答者数: 965件				
	設問数: 3				
②結果(満足度)	主な質問項目: 施設・スタッフ・イベントの満足度、ご意見・ご感想				
	▼ ①施設の満足度 (算出方法: 5段階評価のうち「大変満足」、「満足」と回答した割合)				
	目標	過去3年平均 78%	実績	80%	達成 要因 施設・設備・安全性・利便性が良く、安心して釣りが楽しめる施設として評価されている。 昔より釣れなくなった、時間を気にせず手頃な料金で利用したいとの意見もいただいた。(参考) 令和6年度 73%
	▼ ②スタッフの満足度 (算出方法: 5段階評価のうち「大変満足」、「満足」と回答した割合)				
	目標	過去3年平均 76%	実績	90%	達成 要因 スタッフが親切であると評価されている。 (参考) 令和6年度 67%
③主な意見・苦情、対応	▼ ③イベントの満足度 (算出方法: 5段階評価のうち「大変満足」、「満足」と回答した割合)				
	目標	過去3年平均 59%	実績	79%	達成 要因 定期的にイベントや海づり教室が開催されている点が評価されている。期待していた釣果が得られなかったお客様もいると思われる。 (参考) 令和6年度 51%
・施設がきれい、駐車場が近く便利、景色がきれい ・スタッフが親切 ・暑い →意見を受け止め、今後対策を検討していく					

4. 項目別評価

評価項目	5段階評価	評価の理由
(1)管理実施状況	ほぼ提案どおり	仕様で定めた事項を適切に履行し、サービスの質的にも期待した水準であったため。
(2)利用状況	提案を大幅に下回る	提案値等を達成できなかったため(0.8倍未満)
(3)収支状況	提案を大幅に下回る	提案値等を達成できなかったため(0.8倍未満)
(4)満足度調査の結果等	提案をやや上回る	仕様で定めた事項を適切に履行し、提案をやや上回る効果があったため。

5. 総合評価

評価項目	(A)配点	(B)項目別評価の係数換算	評価点 (A×B)
(1)管理実施状況	30 点	1.0 (ほぼ提案どおり)	30
(2)利用状況	30 点	0.6 (提案を大幅に下回る)	18
(3)収支状況	25 点	0.6 (提案を大幅に下回る)	15
(4)満足度調査の結果等	15 点	1.2 (提案をやや上回る)	18
※評価点(合計)の総合評価変換			評価点の合計 81 点
【AAA】150～121点, 【AA】120～101点, 【A】100～81点, 【B】80～61点, 【C】60点			総合評価 A